京城日報

二十六日夕刊
（朝夕刊併せて八頁）

○休戰條約內容

全權委員間に締結されたる

露、獨、墺、土、勃及び羅兩國との全權委員間に結ばれたる十箇條の休戰條約十七日發表されたるが其の要旨左の如し（和蘭發共同特電）

第一條　休戰期間は十二月十七日より一月十四日迄とし但第二十四日目に七日間の豫告を以て休戰破棄を通知するを得若し右通知なければ一方に七日前に廢棄の通知を爲す迄休戰繼續す

第二條　休戰地區は黑海と波羅的海間露、土、戰場正面とす休戰中は相互の軍隊の增加及び攻勢準備の爲め戰線改正を爲さゞる事及び一月十四日迄は黑海と波羅的海との間にて作戰動作及び軍隊の移轉を行はざる事

但調印當時已に移動中のものは此の限にあらず（中略）

第九條　調印に引續き講和談判を始むる事

第十條　波斯より軍隊を撤退する事に就き露政府と連絡すべき事

○露國四分五裂

各所に獨立政府組織

過激派に對抗するカレージン、コルニロフ兩將軍一派の哥薩克は哥薩克政府を組織しドン地方を交戰區域とし、ハリコフ、莫斯科に對して大いに陣容を整へ之を威脅せんとしつゝあり又高架索地方も過激派に反抗して獨立政府を組織し斯くして露國は漸次分裂の形勢を加へ來れり（哈爾賓特電）

○過激派妥協態度

過激派はウクライナ及び憲法會議問題に對し妥協的態度を執るに至れり（露都電報）

○哈市過激派敗殘

道に狂暴を極めたる哈爾濱の過激派も今や敗殘の末路に近づきつゝありリウチン會長、スラウニン副會長の兩氏若し滿洲を放逐されんか其一味は共に滿洲より去る可しなど弱音を吐くに至り一時世上を騷がしたる當地政變、無警察の圖畧狀態は玆に恢復し再び平和の目を見るに至れり（哈爾賓特電）

○航空隊增設と朝鮮

來年度を以て增設さるべき航空隊二個大隊の中一個大隊は朝鮮に增設さるゝやも知れずと（東京電報）

○廣軌改築延期

二十五日首相官邸に於ける內閣定例會議にて七年度特別會計豫算に就き審議したるが鐵道院所管廣軌鐵道改築は財政の關係上延期する事に決定したり（東京特電）

○三派交涉會

政友、國民、新政三派交涉會は二十五日午前十一時より開會全院委員長、決算委員長は新政會より懲罰、請願三委員長は政友會より選出せり、尙豫算委員中主査には國民新政兩派より之を選擧するに決し散會せり（東京特電）

○院內役員（國民黨）

國民黨にては二十五日午後一時本部に於て代議士會を開きたるが其の結果院內役員左の如く決定せり（東京特電）

▲院內總務　野添宗三、望月長夫
▲院內幹事　渡邊昭、土井權大、湯淺凡平、野口孝治、白河次郎

○鮮米納め相場

大阪正米納め相場は釜山米二十一圓二十錢、群山米二十一圓五十錢

○朝鮮製紙總會

役員選任

朝鮮製紙會社は二十五日午後[illegible]定款の變更、[illegible]承認あり終つて左の重役を選任し散會せり（京城特電）

取締役社長　藤原銀次郎▲常務[illegible]　取締役[illegible]、有賀[illegible]、小笠原菊次郎、高野省三▲監査役　飯田邦彥、[illegible]

○總督下關着

[illegible]朝鮮總督は二十六日午[illegible]下關着[illegible]（下關特電）

明年度朝鮮總督府特別會計豫算綱要

總說

大正七年度朝鮮總督府特別會計豫算は內定の財政獨立計畫に基き且時勢の進運に順應して之が編成を爲したり、其の歲入豫算に於ては時局の推移及び輓近財界の好況に伴ひ朝鮮に於ても各種事業の勃興を見るに至り各種物產の生產增加及び輸出入貿易の旺盛は一般經濟界に著しき好影響を與へたるを以て關稅、印紙、遞信及び鐵道等の收入の如きも相當の自然增加を見込み得るに至りたり加之多年實施せる土地調查の事業は大正七年度初に於て完了を告ぐべきを以て豫定の計畫に依り地稅の賦課方法を改正し且豫定の如く煙草稅令を改正せんとするを以て是等の增收を見込みたると共に一般會計よりの補充金は豫定通り減額せり又本年度に於ては公債支辨に依るべき鐵道建設改良の計畫を追加せし爲其の財源として公債募集金受入の增加を見込みたり、而して其の歲出豫算に於ては極力節約を旨とし勉めて普通行政費の膨脹を抑制せりと雖も新に財政計畫の施行又は朝鮮開發上緊要なる事業の計畫及び既定事業の進捗に伴ひ避くべからざる經費の增加を計上せる外教育、衞生等に亙る諸般の施設に關し財源の許す範圍內に於て其の經營を進むるの方針を採りたり

▼歲入

大正七年度歲入豫算總額は六千四百五十萬二千五百三圓にして前年度實行豫算歲入總額六千二百六十五萬九千三百九十四圓に比較すれば百八十五萬三千百九圓を增加す而して右大正七年度歲入豫算の中經常部に屬するもの四千三百十[illegible]千九百七圓臨時部に屬するもの二千[illegible]

▲經常部歲入　豫算額四千[illegible]萬[illegible]千五百九十六圓なり[illegible]

[illegible]

▲臨時部歲入　豫算額二千[illegible]四十[illegible]萬[illegible]千五百九十六圓を以て前年度實行豫算臨時部歲入豫定額[illegible]に比較すれば[illegible]を增加す是れ一般會計より補充金は豫定の如く二百萬圓を減少すと雖公債募集金受入に於て十六萬四千九[illegible]圓、前年度剩餘金繰入に於て[illegible]二十五圓、東洋拓殖株式會社株式配當金一般會計よりの受入金六十五萬[illegible]圓を增加せる等に由る

▼歲出

大正七年度歲出豫算總額は六千四百五十萬二千五百三圓にして前年[illegible]

▲經常部歲出　豫算額三千[illegible]萬[illegible]千[illegible]百[illegible]圓にして前年度實行豫算歲出經常部豫算額[illegible]に比較すれば[illegible]を增加す

▲臨時部歲出　[illegible]

[illegible]

一、朝鮮醫院及濟生院

大正七年度豫算總額は百十六萬五千百[illegible]十七圓にして歲入歲出同額なり今之を前年度歲入實行豫算總額百四萬六千三百七十七圓に比較すれば十一萬八千七百八十圓を增加す[illegible]

二、朝鮮醫院及濟生院資金部

大正七年度歲入豫算總額は一萬二千五十圓にして前年度實行豫算歲入總額七千六百三圓に比較すれば四千四百四十七圓を增加し歲出豫算總額[illegible]

[illegible]

事總豫額十五萬圓に對し七萬五千圓を大正七年度以降五箇年度に亙り補助するものとし其の本年度年割額一萬五千圓

慶尙北道地方費の經營に係る兄山江修築工事總費額十三萬五千圓に對し[illegible]

朝鮮殖產銀行に對し其の創立初期の末日より五箇年を限り政府持株以外の株式拂込資本額に對し年百分の七の割合に達する迄の利益配當を補給するものとし其の本年度所要額四萬圓を豫算せり

朝鮮神社造營の必要あり總額九十萬圓を繼續費とし本年度以降四箇年度に亙り[illegible]

附記　右新設事業中一項は從來施行しつゝありたる鑛床調查の事業を終了したるを以て更に同狀況に[illegible]周密なる地質調查を行ふの必要[illegible]

[illegible]

○辭令

[illegible]

陞敍高等官六等（各通）
陞敍高等官七等（各通）
陞敍高等官三等（各通）
陞敍高等官四等（各通）
陞敍高等官五等（各通）
陞敍高等官六等（各通）
陞敍高等官七等（各通）

[illegible]

○露獨障壁全然撤廢

俘虜戰線を超えて歸國す

過激派政府は獨墺側の俘虜に對し自由散[illegible]の名の下に解放せり爲め各地の俘虜は意の儘に外出し歸宿せざる者多きが今日迄に露都に入り込みたる俘虜は一萬餘に達し中には戰線を越えて獨墺國に歸るものさへあり之れに依りて見るも露獨間の障壁は全然撤廢されたるものと認めらる（露都電報）

○獨逸國內の不安

獨逸フォルウエルツ新聞は國民に對し警告して曰く『今や獨逸には飢餓に惱める人民四千餘萬あるが玆一箇月を出でずして一大災厄に接せんとする虞あり其の結果獨逸の受くる打擊は露國の經驗せる夫れよりも更に重大なるものある可く獨逸の戰爭全局の失敗は之を齎らせるものなり』と政府は此の論評に對して同新聞に三日間の發行停止を命じたるが不安は國內に瀰漫せり（巴里電報）

○浦鹽航路終航

朝鮮郵船會社の浦鹽航路は二十八日頃同港入港の平壤丸を以て終航とすべく同船は一月一二日頃浦鹽を出航すべしと

○京畿金融狀況

十一月末現在京畿道管內水原地方金融組合以下二十四組合に於ける金融現況を聞くに組合人員總數一千[illegible]百十八人にして之を昨年同期に對比すれば一千九百五十八人を增加せり而して負債及資產の狀況左の如し

▲負債の部　出資金十一萬一千五百九十圓、政府下附金二十四萬八千七百二十一圓、別準備積立金五萬四千八百二十二圓、借入金四萬二千四百三十五圓九十五錢、預り金五萬六千七百十九圓、委託販賣及共同購入前受金五百七十一圓七十七錢、朝鮮銀行代理店五百五十九圓十四錢、剩餘金九厘利益金五萬五千七十一圓二十錢、[illegible]十四錢九厘、利益金五萬四千四百[illegible]九十六錢合計六十二萬九千七百六十三圓卅七錢四厘

▲資產の部　現金二萬四十五圓六錢、貸付金二十五萬八千九百八十三圓卅二錢、委託販賣前渡金及び共同購入金一千四百四十五圓九十錢、土地建物其他所有物四萬六千五百十一圓八十二錢五厘、農工銀行代理及び媒介貸付五萬三千九百九十六圓十錢、預け金十一萬一千二百八十九錢、損失金三萬三千零七十七圓八十錢、現金一萬三千零七十三圓十錢、現金一萬三千零七十三圓十錢五厘合計六十二萬九千七百六十三圓七十四錢五厘なり因みに昨年同期に對比すれば利益金に於て六千九百二十六圓七十錢五厘現金に於て一千二百七十二圓六十錢五厘合計に於て十萬零一千四百八十九圓五十二錢九厘の何づれも增加を示せり

○石塚總裁出發

東拓總裁石塚英藏氏は忍子夫人並に令息令孃同伴二十七日午前八時四十分南大門驛發列車にて別府溫泉に赴く事となりしが其の旅館は不老町油屋にて滯在は總裁の病後の靜養を要するものあるに付約一週間位の豫定にて東上すべしと尙ほ吉田參事は釜山まで一行を見送る由

▲總裁告別　石塚東拓總裁は二十七日朝內地へ出發に付二十六日午前中山縣政務總監外谷部局長官其他主なる向を告別のため歷訪せり尙ほ一般的の告別挨拶は總裁の病後に付吉田參事代理する由

人事消息

▲豐田四郎氏（土地調查局技術課長）地形調查視察の爲め二十七日朝出發濟州島へ
▲後藤瑞巖師　釜山大邱に巡錫中の處二十六日朝歸山
▲楠野武氏（三菱鐵南浦出張所長）二十五日夜入京天眞樓へ
▲岡本檢事（鐵南浦支廳）同日退京
▲横井二郎氏（慶南一部長）二十五日入京

□東京より

在京　一記者

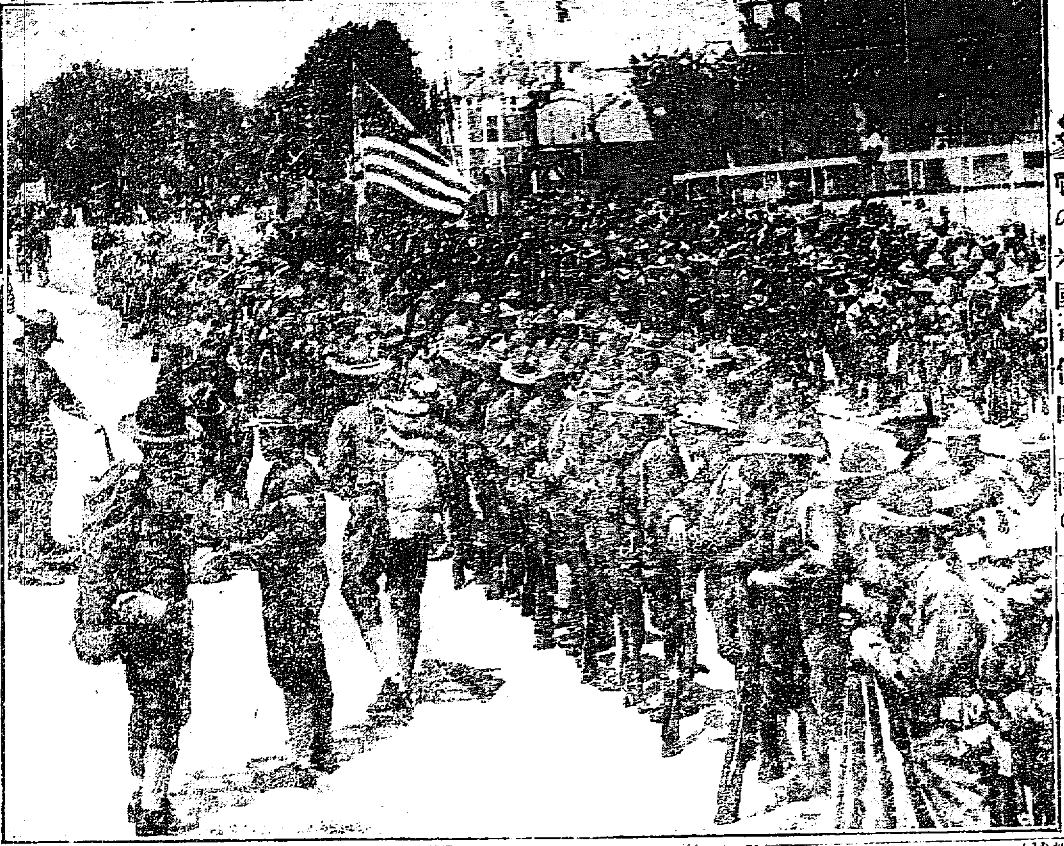
歐洲出兵論（五）

○我が帝國が歐洲に出兵せざる所以の第一義は主として東邦平和の確保に對する任務重大なるに在るや固より論を俟たずと雖も[illegible]和の確保に對する任務[illegible]更により重大なる[illegible]擔に屬しつゝあることを[illegible]可からず、他無し、露國[illegible]る警備を厳にせざる可からざる即ち是れ也。

○露國革命の結果[illegible]線は久しく休戰的狀態[illegible]あり、しかも今や過激派[illegible]にするに及び露獨の[illegible]化を生じ休戰交涉其の[illegible]休戰と爲り獨逸の[illegible]を與へつゝあると同[illegible]に於ても英佛戰線に[illegible]影響を生じつゝある[illegible]賓となれり。勿論過激[illegible]露獨講和は必ずしも露國[illegible]に非ず。隨て過激派に[illegible]運動各地に起り早晚[illegible]表したる中心的勢力の[illegible]に至るべきは殆ど疑を[illegible]べしと雖も今日の如[illegible]態を持續し過激派政[illegible]力を藉りて我と接壤の地[illegible]なる利害を有する東部西比利亞[illegible]くは北滿洲を以て獨逸勢力の根[illegible]地と爲すが如き事あらば獨り聯合[illegible]國の一大憂患たるのみならず我[illegible]帝國の安危休戚に關する重大問[illegible]

○露國が今日の如く潰裂四出收拾[illegible]たらざる可からず。固より意外の出來事にして聯合國は豫期せざりし所なりと雖も萬一の豫期せざりし狀態を現出したるは露獨の休戰より單獨講和と爲り聯合國を敵視するが如き狀態に推移するが如き事あらば聯合國は今日に於て是非共露國に對する政策を決し速に之れ[illegible]に應ずる準備の完整を期せ[illegible]らず。此時に當り露獨の[illegible]勢力を牽制し其の侵略的行動を防遏する責任を負ふするものは單り我が帝國あるのみなりとせば我が帝國は聯合國に加したる關係より云ふも又單に自衞の任務より云ふも東邦平和の本的目的より云ふも對露政策の方針を確定し聯合國と相聯絡して[illegible]め其の機に應ずべき準備を完整せざる可からず。是れ豈啻に東部西比利亞及び北滿洲方面の秩序維持の爲め內外居留民保護の爲めのみと謂はむ哉。

○此の如く露國革命の結果として我が帝國が聯合國に對する任務の一層重大を加へたる以上は歐洲出兵の遂行を期するが如きは啻に我が帝國の爲に危險の太甚しきのみならず聯合國に取りても決して策の得たるものに非ず。吾人が生容易に歐洲出兵論に贊成せざる所以のものは此等の理由あるに外ならざる也



●參戰の米國軍佛國上陸の光景

●素晴らしい鑛山熱 十年間に十七割の増加

本年の一月から十一月迄全國で最も鑛區出願件數の多かつたのは大阪鑛務署管下で試掘出願件數四千三百五十一件に及び而も此の年末納税期に際して鑛區の放棄者が無いと云ふ盛況を示して居る事は曩に報道した通りであるが更に農商務省の調査によると現在鑛業

◎會社の總數 三百六十七社を算へ總資金二億九千百六十二萬三千二百圓と云ふ夥しい數字を示し之を前年に比較すると一割七分四厘の増加である而て鑛區の總數は試掘のもの九千百十八採掘のもの五千三百六十一で試掘は前年に比較すると三割四分七厘出願

◎許可の鑛區 は前年より約二割強の増加を示して居る更に試掘に就ては前年に比べると五十割を増し從て産額の著しく増加して來るのは喜ばしい事である即ち十年前の明治四十一年に比較すると金は十七割二分、銀は九割八分銅は十六割、鉛は二十六割九分

◎鐵は十九割 四分、石炭は六割六分、石油は七割五分、硫黄は二十割九分と云ふ風に激増して殆ど隔世の感がある然も以上の諸鑛物以外に亞鉛、安質母尼、重石、燐鑛等に關する事業の隆盛に伴れて總産額を通算すると二億五百四十六萬圓に達し

◎十七割二分 の増加となる尚五年前の大正二年に比べると十二割四分の増率で如何に急速の發達を遂げつゝあるかが分る、尤も金のみは生産費に多額の費用を要するに拘はらず金の値段が一定して居るから收支相償はず從つて金鑛業は昨今餘り振はないが銀、銅、鐵、石炭、硫黄の類は

◎頗る旺盛で ある即ち銀の産額は本年に入て一層増加を示し昨年度よりも二割七分強を増加して銅、硫黄、石炭も同樣であるが特に鐵は時局の影響を受けて朝野共に採鑛に力を入れ今年一月以來十月迄の累計で前年より百七十二萬六千噸即ち約二割の増加を示して居る

◎此鑛山熱は 年が纔ると共に一層甚しくなつて蓋し前古未曾有の盛況を呈するに至るであらう（大阪）

●汽車の乘客が大層殖えた 南大門大田間の臨時列車運轉

出穀最盛期を除いては一日の總收入高一萬圓から二萬圓の間を上下して居た朝鮮鐵道も最近貨物の騰貴と經濟界大發展の影響を受けて貨客共に

▽非常の増收 を見るに至り、昨今では二倍以上の收入があるやうになつた、内地でもさうであるが一般の景氣が宜く事業が盛んに興されるため乘客の増加は驚くばかりである最近の營業成績を見ると貨物收入よりも少かつた

▽客車收入は 漸次好況に趣いて今では貨物より收入が多くなつて來たやうである、歲末の繁榮狀況としては大貨物の輸送が制限されて居るので年末必需の雜貨品は小包郵便として送られて居るが重なる到着先は京城長春などで就中

▽長春行きの 小包扱は意外に思はれた程多い一般貨物は大分停滯して居るがそれは山陽線の輸送力が貧弱なためである乘客は例年二十七日から三十日にかけて非常に増加するから本年は二十八九の兩日南大門大田間の臨時列車を

▽一同宛運轉 する事になつた

●モヒの密輸送 廿日大阪より大連に入港せる定期船[illegible]丸にて[illegible]手荷物取扱所にて收容せるに其荷物として輸送するは方に規定せる[illegible]行李は何れも新らしく殊に一人に[illegible]反なりとし寺井と交渉せし處同品は商船會社は借用たしと見當違[illegible]封度（三行李）を抵當に入れたりと[illegible]モルヒネ中毒者に賣りたる事實もあれ[illegible]モルヒネ七十[illegible]（大連）

小林よし子、深井元榮、福田八之助、松田佐吉、觀[illegible]、井上喜助、安武[illegible]、井上伊三郎、佐藤[illegible]他三十八名

●酷寒は當分續く 明年は却て暖かいかも知れぬ

仁川觀測所員の談に依れば本月に入りて寒氣俄かに加はり京仁地方は八九日頃低寒點下五度内外となり十日に至り再び稍寒氣緩みしも十五日朝京仁地方に寒氣加はり殊に十六日以來は俄然零點下十二度内外に下り以來

◎引續き毎朝 日出前最低氣温零點下十度内外を示し寒氣の緩和を見ず二十六日朝に至りて一層甚だしく國境中江鎭は零點下三十度其他北部地方は何れも同二十度内外京仁地方は同十六度内外に下れり之れを從來の

◎記録に徴す るに昨年十二月二十六日京城零點下十九度仁川同十八度六には及ばざるも例年十二月中に起る最低氣温としては從來の記録に匹適す倚右の如く寒氣の永續するは支那大陸の高氣壓發達して毫も移動の模樣なく同樣の天氣狀態を持續するためにして昨今の寒さ

◎俄かに異變 を來すべき模樣なきを以て當分寒氣の續くものと見ざるべからず尤も十二月に寒氣嚴しき歲は翌年一二月に入りても同樣の寒氣強き地にあらず過去の記録によれば寧ろ十二月に低度なるときは一二月に入りて却つて高温なる事多きを以て明年に入りて昨今の如く酷寒續くや否やは疑問にして因に二十六日午前六時の各地の氣温左の如し

新義州	二二・〇	雄基	二五・八
平壤	二一・〇	元山	一八・〇
京城	一七・七	中江鎭	三〇・九
木浦	九・三	城津	二九・九
釜山	五・五	大邱	一二・二
仁川	一六・八	濟州	九・二

●李王世子殿下 任官のお悦びを申上ぐ

二十六日午前十時李王職次官以下高等官並に貴族は同十時半仁政殿に伺候し李王世子殿下御任官の御悦びを申上げ直に德壽宮に至り十一時半李太王殿下に同樣の御悦びを申上げ正午退出した

●北陸地方 積雪七尺

昨今寒氣強く北陸地方は積雪最も深き所七尺に達す鐵道各線悉く不通、電車、電話不通故障多し（大阪特電）

●氷點下十七度 廿六日朝の寒氣

二十六日の朝は攝氏氷點下十七度六即ち華氏の零度三である、さうして近頃は所謂三寒四温がなくなつて三寒季のみが續いてゐる樣である、之は二十五日の夜明け前西海岸に發生した小低氣壓の爲めに午前四時四十分から八時四十分まで雪が降つて、それが過ぎ去つた爲に天氣にはなつたが其の低氣壓の跡へ支那蒙古方面の高氣壓が押寄せて來たものだから氣壓の傾斜が遽かに急になつて北西の風が吹荒んで殆んど滴る鷄卵も凍る樣になつたのである、併し昨年の十二月二十六日は氷點下十九度（攝氏）であつたから本年の同日は二度許り温かい譯である（京城測候所員談）

●美事なる 橫轉飛行三回

所澤航空隊練習將校の厚木飛行は二十三日午前七時滿澤中尉日野中尉操縱飛行し所澤著陸の際破損したる二十四號の豫備機として二十七號機の試驗飛行を行ひたるが成績良好なるより所澤より厚木河原根據地間を飛行すべき寺本中尉に二十七號機を操縱せしめ午前七時三十五分離陸場を一周し機首を南方に向け二百メートルの高度にて根據地に向ひ八時二十五分無事著陸せり厚木河原に於て第六期練習將校交々に廿七號機を操縱し根據地を中心に飛行をなしたるが其際松岡中尉は美事なる橫轉飛行を三回續け觀衆の膽を冷せり（東京）

●相州三崎町の大火

二十六日午前二時相州三浦郡三崎町に出火あり三百五十餘戸を燒き拂ひ同六時鎭火せり各官衙は概ね無事なるも通信不通となり損害多大也（東京特電）

年末掉尾の大勉強

手前共では、年内に也ひ、金にかへさへすればよいと云ふのが目的ですから、勿論金にかへるのでありますから、それは〳〵安い事請合、迚もよそでマネの出來ない直段で、御願ひ致しますから銘仙の御用丈は、ぜひとも手前共へ御願ひ致します。

秩父銘仙 壹千反だけ

京城本町 ちとせや 電話八九〇番

●轢死

釜山佐川洞金德勝（[illegible]）は二十三日午後六時四十分頃釜山驛と[illegible]の間にて轢死を遂げたり原因は[illegible]

●易に現はれた明年の運勢

明年の一般に於ける運勢を占ひたる所[illegible]風雨の[illegible]にして明治町の[illegible]曰く[illegible]平つたく云へば大正七年の上半季は至極平穩無事であるが下半季からは動搖を見るべき卦面である、即ち下半季の天候は概して良好で陽氣に候ても氣候も温かく花も早く開き貸る程く穀の變も稍豐作であらう。然るに下半季に至つては九月から十月頃になると所々に風水害の報が頻に聞かるゝが被害は大した事はなからう。又米相場は一旦大升[illegible]で[illegible]下げ[illegible]併し此卦面に據ると[illegible]事を彼[illegible]

千葡萄 新荷著 京城 青木堂 電話四〇一二番

●大阪の雪

大阪神戸は二十五日夜積雪一寸に及びたるが年内の降雪は珍らし（大阪特電）

警察署から家庭へ

◇道路に水を流すな◇

寒氣の爲め昨今街路が一面氷結して夫れに踏み固められた雪が凍りついてゐる爲め一面鏡のやうにツル〳〵滑かになつて危險この上もない、婦人や子供等はよく辷り倒けてゐる。そこで道路には一切水を撒かぬこと、とを通じのよくない下水溝に汚水などを流さぬやうにして欲しい、是れは特に婦人方へ御注意

●街の暮

◇櫻井町から 活動辯士の

本町通りの暮の氣分も元町の六丁目、警務總監部に向つてゆく道路を一區劃として其の販盛の色彩が稀薄になつてゐるやうだ、この邊りからは何んとなく寂しい感じがする

◇場末 らしい感じがする、場末といへば元の若草町がやかては南大門通りに匹敵するやうな素晴らしい道路になつた今日相變らず昔しながらの見窄らしい町の名殘を止めてゐるのは櫻井町通りである、しかも三四年前までは今日程の寂れ方ではなかつたが、この秋の

◇火事 町の中央が大七軒燒失したせいか、それとも近所が壁し綺麗になり過ぎたのか、今では以前程の活氣を缺いでゐるやうである、しかし亦この町には他の町には何うしても求められない特色もある、それはこの町の生命ともいふべき二箇の活動寫眞館とそれに伴ふて出來た飲食店……といつても

◇喰氣 一方の店が澤山にある事である、飲食店には肝腎の常客たる活動見物の客足が壁しく薄れたこの頃は汁粉や燒餅の請負などの看板を寂しく掲げて、新搗の餅が寒らしい氣を喚るものである、活動寫眞の方は

◇暮は 全く客足が絶え興行者の方はこの月は算盤が持てませんと滾しながらも休館して事情から年末までは引つゞき營業を續けるのだといつてゐる、猶手も借りたいやうなこの忙しい年の暮を朝な夕な出でては歸つてくる華かな活動寫眞の

◇樂隊 の群れにも歲らしい或は暗い影が附き纏つてゐるかと思へば昔しの俠客でも著たかと思はれるやうな温袍に薄い羽織を引きかけた活動の辯士の忙がしげな足どり、この節季を何うして過さうといつた風の不安さうな顏そんなものにもこの町の暮が閃めいてゐる

商況

債券現物特電

[illegible]

東京公債直取引

[illegible]

東京期米特電

[illegible]

大阪株式特電

[illegible]

大阪三品特電

[illegible]

大阪期米特電

[illegible]

下關期米特電

[illegible]

雜報

●綿糸棹尾の活躍 [illegible]

一圓十五錢高 [illegible]

頗る穩健 [illegible]

一限三百二十 [illegible]

四圓臺先限三十 [illegible]

圓臺に跳 [illegible]

現物 [illegible]

●綿布龍レー十圓 [illegible]

六十錢三銘先物 [illegible]

十圓九十錢 [illegible]

●春米豫想混沌 [illegible]

十一圓三四十錢 中米二十圓五六 十錢に上 [illegible] 漸く持合の裡に越 [illegible]

年 自然調節

[illegible]

廻穀狀況も今日 幾分緩和 [illegible]

望み難き春米の高値 [illegible]

▲期米新甫氣配 [illegible]

前年度標準米 多少上位 [illegible]

七十錢上鞘 [illegible]

附合店の場合 正米より見て大上鞘 [illegible]

先づ四十錢乃至五十錢上鞘 [illegible]

●錫は本國尚 [illegible]

高、香港物一圓 新嘉坡物二圓 [illegible]

高告一圓高 生野は十圓高 [illegible]

案外冷靜に構 [illegible]

●製粉一昂一低 [illegible]

輸出談は杜絶 [illegible]

氣配は依然頗強 [illegible]

●釜山水產好況 [illegible]

下關相場 [illegible]

仁川米豆取引所仲買人 今村覺次郎

京城正米 [illegible]

南大門の廻穀 [illegible]

仁川正米 [illegible]

▲二十六日前場 仁川期米 大納會平穩 [illegible]

▲第一節 大阪兵庫二十二錢大阪天 [illegible]

會に告 [illegible] 十六錢さ無事大納 [illegible]

中七十七錢先六 [illegible]

東京十二錢、兵庫 六十一錢 [illegible]

東京十九錢、兵庫六十七錢 [illegible]

伸惱の成行で無事 保合の裡に大納會 [illegible]

仁川海岸町三丁目 仁川米豆取引所仲買人 ナ 仲買店 電話 長九〇五番 八三二番

期米大納會 [illegible] 強弱 腰入に頗 [illegible]

確實 迅速 [illegible]

期米定期 新年第一節は午前九時三十分より十時三十分 四節を終了 中限より七十錢上鞘 [illegible]

仁川米豆取引所仲買人 三巴仲買店 仁川海岸町三丁目 電話 長一二二三 京城[illegible]

從來大阪の下に附隨せる反動 [illegible]

仁川米豆取引所 二十六日の二月限 [illegible]

仁川米豆取引所仲買人 田中金兵衛商店 仁川海岸町二丁目 電話長[illegible]番

[illegible]

大 [illegible] 晴れ ○日出 七時四十七分 ○日沒 五時二十二分

……出張の行李を大込みし……出張すれば大倉船長は事務長と協……の結果追認をなしたるが……行李よりモルヒネ五百五十封度の……多數現はれしより遂に問題となり大阪商船會社は斯る貴重品を手……義務なし殊に發送せるモルヒネ……を支拂ひたれば夫れ以上支拂ふの……したるに先方は大阪の本店の……しなれば事件を大阪の本社へ移さ……[illegible]

支那と東清鐵道

哈爾賓の擾亂と支那の態度＝當然起るべき問題＝支那は代償すべき金額あるや＝大連にて　某消息通談

哈爾賓に於ける露國民の擾亂と共に其の行政官の權力全く地に落ち支那軍隊は從來の露國の勢力に代りて哈爾賓の秩序を維持する事となり從來の面目より見て主客地位を顚倒するに至れるは當然なる官憲の行政に東三省官憲中にも此の務を遂せむ東清鐵道を[illegible]の施設の代價を支拂ひて利權の回收を行ふ可きなり然れども之れに要する金額は莫大にして到底支那現狀より斯くの如き支出は出來難き處なるを以て勢ひ他國の助力に依らざるべからず此の點に就て日本は注意を怠るべからず

▲自國の手に收めん 事を熱望し吉林督軍孟恩遠氏の如きは公然中央政府に打電して東清鐵道一帶の利權を回收せん事を献策し中央政府に於ても稍之れに食指を動かせるもの、如く東三省調査委員顏世清氏を露支交涉擔任者として哈爾賓に派遣したるが

▲顏世清氏の任務 は元より東清鐵道利權に關するのみならず支那軍隊の派遣に伴ひ諸種の交涉問題を惹起すべきを豫測し之れが交涉解決に任ずるとして當る事と成り居れるも及ぶ一面前述の如き利權回收調査の内命をも受け居れりと傳へらるゝは或は事實なるべし

▲孟督軍等一派が 哈爾賓の擾亂に乘じ直ちに利權を回收し得べしとせるは支那國内に於ける權勢爭奪の慣習を以て直ちに國際關係に當て嵌めんとする謬見にして今回地方に於ける利權の回收を爲さんとせば支那政府は露國の何人を對手として回收の交涉を開始せんとするや回收論者は或は

▲國家の分裂せる 際に於ては其の領土は當然主權を有する國家に復歸すべきものなりと論ずるやも知れざれど露國は目下革命の過渡期にして之れを分裂し亡滅せる國家と見る事は尙早なるべく殊に東清鐵道の如きは單に露支兩國のみの問題に非ず

▲他の第三國にも 其の關係を及ぼせるを以て今俄かに之れを其の手に回收し難き事は勿論なり然りと雖も露國の現狀を視るに近き將來に於て其の國勢を恢復すべく發展なく尨大なる亞細亞を越て極東の地に其の經營の手を延ぶる事は今後實際に不可能となるべく其の際に於て當然起るべき問題は極東に於ける其の

▲國家施設の處分 なるべく此の時に當つて支那は當然其

慶北檢米狀況

慶尙北道内各穀物檢査所に於ける其の檢査成績を調査するに本道に於ては米穀の檢査は當局の取締に依り乾燥に關しては最も力を注ぎつゝある處にして各穀物商及び地主等を督勵し各集散地に於ける乾燥不良なる穀物は賣買を中止せしめ又同業者間に於ては申合せ規約を設定し居れるに米穀の改良に努めたる結果最近に至り成績頗る良好となり實に面目を一新したりと云ふも十一月初旬には二等米及び三等品多く一二等品頗る少く格品は甚だ少なかりしも最早や一二等品頗る多く出現するに至れり只惜しむらくは慶山、金泉地方に於ける或る一部に遜色ある乾燥を認めたるな是れ金泉地方に於ては從來商州方面の出張所に於ても乾燥不充分なる[illegible]に調製し粗雜なる搬出をなし居たる爲めなり又慶山地方には不良品多かりしも永川、慶州の一部分より乾燥不良なるものを玄米に調製し慶山方面に於て取引を行はれたるものにして何れも當局及び地主等の督勵の結果漸次良好に赴きつゝありて之等は遠からず完全なる調製を見るに至るべしと（大邱）

露貨と地方鮮人

曖昧無智なる平壤附近鮮人中には露貨留の暴落せるより是れを買占め一攫巨萬の利益を獲得せんと近時資金の潤澤なる儲に此種方面に資金を注入するものありと云ふ可からずと一部人士の間には危險を憂慮され居れるも右は主として地方農民に多く平壤居住鮮人の如く相當思慮ある商人間には係る危險なる投機的行爲をなすもの尠かるべし地方農民中にても宣川、安州地方貨熟殊に旺盛なれども是れとて二十萬留を越えず邦貨に換算すれば三四萬圓のものなるべく目下の時稍持直しの氣配あれば左程危惧する程にあらざるべしと某氏は語れるが是れ或は眞に近きものならん歟

慶北迎日漁況

例年より豊漁なり

此の程慶北迎日郡に於ける漁業狀況の視察を了したる某當局の語る處に依れば同郡甘浦以南は各種漁業共相當の漁獲あり殊に鰤建網の如きは一船にて多きは二萬八千尾少くも八千尾位の漁獲を見例年に比し十四五倍位は多漁なり[illegible]鰤漁の如きは十八日鮮人等が試驗的に入れたる建網を[illegible]一萬二千尾を得たる[illegible]を豫期し[illegible]漁業組合員[illegible]申込みありしも[illegible]鰤漁の[illegible]一般に悲觀せられたるも鰤漁の如きは近年稀なる好況にして[illegible]昨年に比し[illegible]

正金引揚期

正金銀行安東縣出張所は明年一月末日限り閉鎖し[illegible]

鮮銀會議終了

朝鮮銀行大連支店に於て開催中なりし滿洲關係店長會議は二十四日を以て終了したり各店長は二十五日午前中各[illegible]小西奉天、久我安東縣支店長[illegible]開原、遼陽出張所長は二十五日午後八時大連發歸任今井旅順出張所長は二十五日午後一時五十分大連發赴任、猶旅順出張所勤務藤岡本氏等は二十四日それぞれ赴任せり（大連）

南滿製糖製函

兼ねて南滿製糖會社にては所要の函を製造すべき工場を安東縣に設置すべく豫算二十萬圓を計上しありたるを以て此の程より該工場用敷地借入方に就き滿鐵事務所と種々交涉を重ね居りしも餘り捗々しく進捗せず爲めに一時安東既成製材工場の買收を計畫し某方面へ内々交涉する處ありしも是亦目下材木界の好況なるにより容易に手放さざるを以て更に滿鐵側と交涉の結果遂に圓滿なる解決を見六道

馬鈴薯米奬勵

美味にして賞用さるる慶北地方にては兩三年前より馬鈴薯米なるものゝ[illegible]を取出し逆に[illegible]解液に浸漬後清水にて洗ひ[illegible]一圓二百匁の米を得る[illegible]なれば使用せざるも色澤の稍黑き[illegible]

新織工場計畫

平壤府大和町平壤製粉所機械据附に係る松氏は曩きに[illegible]見たる平壤製粉所機械据附に從事しつゝある處あり[illegible]に興味を持ち研究しつゝありしが[illegible]を作り[illegible]工場を設くべく目下機械註文中の由同氏の計畫にては最初小規模なる家庭工業的のものとなし漸次大規模なる工場的のものに移すものなりと[illegible]一般の注意を喚起しつゝあり

釜山局と歲末

釜山郵便局にては去る二十二日より二十五日に至る四日間歲末の繁忙期に於て[illegible]稀なからしむべく[illegible]の下に技手七名上席雇員四名を市内各方面に分ちて平素一日平均三十回以上の通話を爲す加入者の機械を檢し商務方面に[illegible]蔵末の繁忙期に便益を與へつゝあり（釜山）

二十五日午後十時釜山入港の[illegible]丸
二等客[illegible]
三等客[illegible]

●板久官補轉任　奉天大連旅順方面へ出張中なりし板久領事官補は二十三日歸安せり（安東）

●鈴木技師來郵　朝鮮總督府技師鈴木城鐵氏は大邱より水原より[illegible]の爲め去る二十四日午後四時九分著の急行列車にて來郵し翌廿五日同處工檢査を終了したり[illegible]

●警察部長歸任　[illegible]

〇山事件判決

[illegible]

文士等

[illegible]

八人組強盜

於安東一網打盡

去る十九日午後十時より九時頃安北道は義州郡松長面永達洞中里[illegible]方及び同洞金[illegible]方の三箇所にて數名の強盜は侵入し[illegible]早くも門を開けて取扱ふべき事ありと呼びて威嚇し家人の隙を見て兇器を示し金錢其他衣類什器等八百餘圓を強奪したる八人組強盜は其の後姿を晦まし行衛不明の有樣なりしが遂に二十四日午後一時頃安東縣三番通を迂路付き居れる三人の鮮人不審の點あるより早速取調べたるに其の強盜の片破れなる事判明し其の餘の者の所在を調べたる處是れ又安東縣にて方々に迂路付き居る事を陳述したるを以て時を移さず各方面に手配し二時半頃までに全部を取押へ引致したるに初めの間は諸々白狀せざりしも遂に包み切れず自白せしかば廿五日義州憲兵隊へ向け押送の筈其の賊徒は忠南唐津郡崔鴻烈(三)黃海道遂安郡金承騎(三九)新義州崔賢風九(三〇)忠[illegible]南道[illegible]郡[illegible]江原道洪川郡金雲學(三)京畿道開城郡李在夏(三〇)の八名にして強奪したる金錢は五十七圓宛の山分けをなし所持し居たるが多くは費消して合計百五十六圓を餘し居たるのみ又所持せる兇器は拳銃一個小刀一個のみにて他の拳銃小刀は新義州の某所の土中に埋め居れる旨自白せり是等賊徒は悉く朝鮮の[illegible]

無煙炭で窒息

[illegible]南浦中[illegible]の船頭[illegible]第八十二號[illegible]が二十五日午前七時頃船内にて窒死し居るを發見し届出に依り成規の檢視を受けたるが死因は暖爐に無煙炭を焚きたる為め窒息したるものなりと（鎭南浦）

九軒を荒す

平北泰川郡[illegible]林面[illegible]の金萬年[illegible]本年十月三十日出獄後其れ[illegible]長林面朴[illegible]に侵入し家人を毆打脅迫して現金數十圓其他雜品等三十五點を強奪したる所を此の程博川警察署に逮捕さる

●警部補勤務手當附與　鎭南浦警察署[illegible]巡査部長及び巡査補は廿日附を以て[illegible]勤務手當を附與されたり（鎭南浦）

◎騎兵主任の招待會　新義州ホテル[illegible]新任せられたる[illegible]郎氏及び驛長大塚幸熊氏は例の如く廿五日聖誕の祝日を期し新義州安東兩地に於ける有志新聞通信記者を午後六時より招待し晩餐會を催す筈なり（安東）

◎聖誕祭と釜山ホテル　釜山鐵道ホテルにては二十五日のクリスマス祭を同ホテル宴會場に行ひ港友俱樂部員其の他を招待して祝賀の意を表し頗る歡を盡したり（釜山）

◎茶話會忘年會　鎭南浦茶話會員は廿五日午後六時より玉屋に於て忘年會を開きたり（鎭南浦）

◎奉贊會木杯下附　明治神宮奉贊會にては今回更に金圓の獻金を爲したる者に對し謝狀及び木杯を交附し夫々本人へ之を交附せり仁川府内に於て一圓以上五圓以下の獻金を爲し謝狀を受けたる者三百九名五圓以上十圓未滿の獻金者にして木杯及謝狀の下附を受けたる者四十八名其他十圓以上の者に對しては不日本部會長章の交附を為すべし

移轉廣告

豫而左記の箇所へ新築中の營業所今般落成候に付移轉致候間此段謹告仕候

大正六年十二月

朝鮮京城府南大門通一丁目十八番地

大同生命保險株式會社　京城支部　電話長六二一番

謹告

今回[illegible]小林[illegible]事務所[illegible]河合君に讓渡[illegible]

小林讓

河合忠吉　電話[illegible]九六番

婦人公論新年特別號

虛榮時代號

▽虛榮と虛飾の時代……三宅雪嶺
▽贅澤を追ふ心……宮田修
[illegible]……森田草平

六論文 [illegible]
女のたしなみ [illegible]
衣食住 [illegible]
家庭 [illegible]
六讀物 [illegible]

漫畫 [illegible]
日繪東京十二景の一 [illegible]
山でたり高級婦人の新年の讀物
聞け！婦人界に對する警鐘の第一聲を

長編小説
秘めたる戀……德田秋聲
女人神聖……谷崎潤一郎
玉藻の前……岡本綺堂
お小夜の手紙……上司小劍
王女と銀の王妃……鈴木三重吉
石……小山內薰

◎本號に限り特價三十五錢郵稅二錢
東京本郷區西片町十番　中央公論社　振替東京三十四番

◎時代の罪か？婦人の罪か？さても虛榮の爲に身を誤る女の多きよ

内科小兒科　中島醫院
京城府明治町二丁目（本町江戸川横より入る）電話三七八番
入院隨意（普通病室隔離病室）
院主　中島貞信

内科小兒科　小林醫院
京城旭町一丁目
入院隨意（普通病室並に隔離病室）
醫學士　小林千壽　電話六九二番

謝近火御見舞
本月二十三日朝弊所々屬病院火災の際は早速御見舞に預り御厚情の段奉鳴謝候[illegible]
三菱製鐵株式會社　兼二浦製鐵所

特甲乙
最新式背廣冬服
特　金參拾九圓
甲　金參拾六圓
乙　金參拾圓

オーバーコート
特　金參拾七圓　甲　金參拾四圓　乙　金貳拾八圓五拾錢也
△オーバーコート專用厚地羅紗揃居候
◎地方は御申越次第見本帖と寸法取圖解御送付可申上候
○送料[illegible]
京城本町通一丁目　振替京城二〇〇番
京城日報社代理部

廉價販賣
古木本場　梅盆栽　福壽草
黃梅　寒咲松　花木　竹　草　盆種　栽各　割
京城大和町警務總監部四ッ角
骨董園藝　大舘微笑園　電話一三五五番

石材値上廣告
今般協儀の結果販賣價格二割値上實行可致候條此段廣告候也
京城石材採取販賣業者一同

六七回（十組以上割引アリ）
貳千圓　壹通印賣　拾圓六拾錢
四千圓　貳通組賣　貳拾圓也
六千圓　參通組賣　四拾圓也
八千圓　四通組賣　八拾圓也
送料十錢要
大阪市土佐堀　合名會社和田　振替大阪六一四八番

◎本場みかん大賣出し◎
●注意●本年は蜜柑大兇作のため他府縣蜜柑の石油箱入を紀州箱に詰め替へ紀州本場蜜柑と稱し販賣する奸商者あり箱の蓋の上に㊋の商號に御注意御買上願上候
但一箱と雖も御直段に差上候間御來店奉願上候
京城南米倉町市場
紀州本場蜜柑　京城賣捌所
果實問屋　㊋岩城馨商會
振替京城一〇〇六番　電話八四二番

汽車
京釜線（南行）　同（北行）　湖南線（南行）　同（北行）　京義線（北行）　同（南行）　京元線（北行）　同（南行）　京仁線

左甚五郎

第百二十五席

桃川如燕口演
浪上義三郎速記

千利久は太閤殿下秀吉公の御前へ出で長谷川等伯のことを吹聴をいたしましたから、然らば其の者に目通りにて何か描せイと云ふ御意、等伯大きに喜び利久に伴れられて殿下の御前へ罷出で山水人物を狩野風と雪舟風とに描き分けて御覧に入れ、御褒美を頂戴して上々の首尾で下つた。それが又評判になつて諸侯方より招かれ、從つて段々入る澤山ありまする。乃で又今度は立派なる家を新築して其處に住むやうになりました。爰に於て等伯初めの希望通り長谷川派といふ一流を興しました。其の風を慕つて門に入る者數知れず、又其の揮毫を望む者は日々門前に市を爲すと云ふ位でございます。後此の等

伯は二人の子を設け兄は宗也弟は信春と申しまして何れも父の教を受けて長谷川派といふ一派を擴めました。此の信春が平素大久保彦左衛門方へ出入りをいたして居りまする處より彦左衛門の推擧によりまして日光へ參ることになりました。此の描いたのが只今以て日光に殘つて居りますが八笑人の圖でございます。偖甚五郎は三十餘人の仕手方を伴れて日光の大門前柏屋佐兵衛といふ宿へ著きました仕手方一統を休息いたさせ、甚五郎は政吉を伴れまして土産物を持つて栗原遠江の宅へ參りました。見ると却々立派な住居、玄關構へ菊の紋の附いた高張が二ツ玄關に立つて居て大工の住居とは思はれません位『甚『お頼み申します、私は甚五郎と申す江戸表から參りました者、只今大門前の柏屋方へ著いたしました、棟梁にお近付きに出でました、宜しく何うかお取次ぎを願います』と土産物を其處へ出した、小女が此のことを奥へ取次ぎまする、此處へといふ案内に從ひまして座敷へ通つて見ると、欅の如輪杢長手の火鉢の傍に擧を敷いて其の上に若座をして居ります男のは栗原遠江、素より甚五郎といふ人は決して高ぶらない人で『甚『初めてお目にかゝります。私は江戸の遠草諏訪町に居りまする甚五郎でございますが、何分宜しく何うかお引廻しを願ひます『栗『ハイ是は／＼、申し遅れました、俺が栗原遠江、只今は結構なお土産を頂いて有難うございます、此度は又御苦勞さまで、イヤもう年を老ると海に仕事が埒が明かねえ、それが爲に上のお役人から大層急がれたので、江戸から大工を廻して下さる樣にお願ひ申した處から、とんだ何うもお前さんに御苦勞をおかけ申して濟みません『甚『何ういたしまして、何分何うか宜しくお頼み申します』と何だか手持無沙汰、碌に茶も出さないやうな始末ソコ／＼に甚五郎は暇を告げて表へ出ましたが、その時政吉が『政『人を馬鹿にした奴は栗原遠江、何れ程の官職があるんじやア無し、先方も大工なら此方も大工、土産を持て人が顔出しをしたを、碌に茶も喫せねえ、それのみか己は蕃團の上に坐つて居て挨拶をするなぞとも途方も無ね奴だ』と頻りに怒りますから『甚『まア／＼そんなことを云ふな、人間といふ者は種々氣風のあつたものだ、何にも悪氣があつて行つた譯でも無から、兎に角宿へ行つて持に酒でも一ツ飲せやう』と柏屋へ立歸りました、甚五郎の歸つた後へ遠江の弟子の諏訪五郎といふ者が參りました、親方の遠江は日光では威張つて居るが俗世間はそれほど交際が廣くはございませんが、弟子の諏訪五郎は何處までも廣く交際ますから、江戸の大工で日光の諏訪五郎を知らない人は無い、海に氣性の勝れました男、今栗原遠江の家へ這つて參りました

外科一般　皮膚科　泌尿器科　花柳病科
院長　安部修三
安部醫院
京城永樂町二丁目金光教會隣　電話一九番

急告
一茂木和三郎擔者所持步兵第七十八聯隊……本月二十三日……京城太平通二丁目より漢江……紛失仕候……[illegible]
大正六年十二月廿五日
京城太平通二丁目
日本醬油株式會社
京城出張所　電話二四五

十二月廿八日九星
本命五黃八方塞
舊十一月十四日甲辰

地方金融組合登記公告
鐵原地方金融組合ハ地番號ノ設定ニ依リ主タル事務所所在地、組合長、理事、監事ノ住所ヲ左ノ通リ變更ス
主タル事務所　江原道鐵原郡鐵原面官田里九拾八番地
組合長　江原道鐵原郡鐵原面中里百四拾番地……
右大正六年拾貳月貳拾貳日登記ス
京城地方法院鐵原支廳

法人登記公告
一安岳地方金融組合變更登記
一事務所ヲ安岳郡安岳面訓練里五十八番ニ移轉シタリ
右大正六年十二月十七日主タル事務所……大正六年十二月二十四日登記
海州地方法院安岳出張所

恩給年金　最低利立替
諸株券公債貸付　長期低利步安　大阪市日本橋北詰東入ル大和町　明治卅九年十一月創業
上州屋本店　電話東南一八〇

寫眞　寫眞銅版・亜鉛版……
京城日報社寫眞製版部

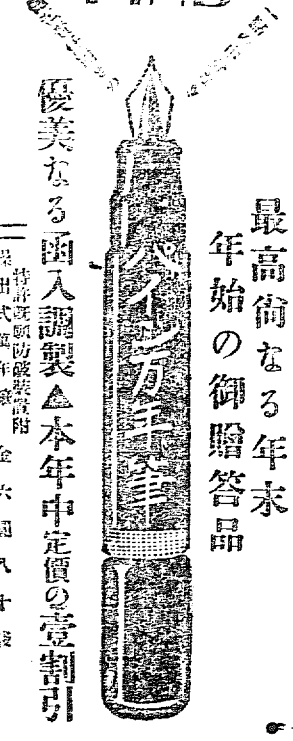
贊化病院
京城明治町一丁目　電話二四一番
醫學博士　古城憲治
岡山醫學士　上野亮藏
內科　小兒科　入院隨意　無料施療す　毎日五名を限り

牛
商工界の七十日　同　郵税一〇
修學行商日記　同　郵税三五
組育市内外の地所　同　郵税九六
京城日報代理部
京城太平通壹丁目　電話長六六〇　振替口座京城三〇一六番

演藝案内
稲荷座　本町五丁目　有樂館　黄金館　大正館

ホシ製藥品
ワクシン
軟性下疳菌ワクシン（下疳横痃用）
アクネ菌葡萄狀球菌混合ワクシン（ニキビ治療用）
肺炎球菌ワクシン（肺炎治療用）
インフルエンザ菌ワクシン
百日咳菌、肺炎球菌、混合ワクシン
感冒用　肺炎球菌、インフルエンザ菌、假性實布埋利亞菌、葡萄狀球菌連鎖球菌混合ワクシン
麻菌ワクシン（癩病治療用）
結核菌ワクシン（結核治療用）
葡萄狀球菌連鎖狀球菌混合ワクシン（結核の混合感染及化膿性疾患治療用）
其他合計二十餘種英國ライト博士の下に研究せる阪上ドクトル擔任製出
星製藥株式會社細菌部　電話京橋一七八五　振替東京二〇五二
東京市京橋區南傳馬町三丁目

強くて温い日本一のオニタビ
衛生經濟を重んぜらるゝ各位
是非一度御試用を乞ふ
東京大傳馬町
寺田淳平商店
特約販賣御希望の方は御申越次第「營業案内」發呈可申上候

大日本政府登錄商標
"PINE"

優美なる函入調製▲本年中定價の壹割引
特許脫漏防廢裝置附
緑押出式萬年筆　金六圓八十錢
押出式紳士向　金五圓三十錢
インキ止式紳士用　金三圓八十錢
インキ止式婦人向　金四圓九十錢
イン止式學生用　金三圓八十錢
バイン號　金二圓八十錢
本品は其品質と構造に於て他に比類なし以て御贈答品として最も適當なる事を確信す
發賣元　京城太平通一丁目　振替京城三〇〇番
京城日報社代理部　電話三一六〇、六六六、一八番

ワシミルク
▲歳暮賣出▼
最高尚なる年末年始の御贈答品

○ミツワ石鹼
ミツワ椿油
ミツワ家庭藥
規那鐵葡萄酒
肝油ドロップス
發賣元
丸見屋商店
東京市日本橋區橘町四丁目
藥劑、滋養品、石鹼、香粧品、小間物問屋
電信略號○ミヤ、振替貯金口座東京七一〇番
營業部電話浪花三〇四四八、四四九、四五〇番

MITSWA BRILLIANTINE.
Modern science has brought us such an excellent hair oil as "Mitswa Brilliantine." It bases upon the famous Mitswa Camellia Oil, which is matchless for the hair health, combined with the best perfume by a special process. It nourishes the beauty of the hair and maintains its vitality, lustre and colour. Also it removes dandruff, stops scalp itching and prevents hair from falling.
Prics 30 Sen and 50 Sen.

○ミツワブリリアンチン
本邦人の毛髪に適する模範的光澤香油として馥郁たる芳香料とミツワ椿油とを以て構成せる
本品はミツワ椿油を基礎とし、之に品質優秀香氣温雅の香水を配合し、尚特殊深奥の技工を施し創製したるものにして、男子の頭髪を分くるとき又婦人の束髪の際、本品を振盪して用ふれば、毛髪の榮養を良くし、其の色澤を漆黑艶美ならしめ、而も芳香馥郁として自ら爽快の感を與へ、能く頭腦を清新ならしむることを得、即ち本品は毛髪の眞美を發揮するに缺くべからざる模範的美髪料なり。
定價　金參拾錢　大壜　金五拾錢
内地以外は關税運賃を加ふ

（現品寫眞圖）

種類
ロ　ー　ズ（ばら）
リ　リ　ー（ゆり）
ム　ゲ　ッ　ト（花の名）
モ　ミ　サ（花の名）
ブーケー（花たば）
ヴァヰオレット（すみれ）

○三百番香水
贅澤で、經濟で、而して最も優良な
◎三百番香水は優雅な香で、長い時間馨を保つ六種の香を發賣いたしました。更に追々色々な種類を發賣致します。
◎三百番香水は一壜毎に小壜の見本を添へてありますから、お嗜好に合ふものをお召しになられる便利な香水であります。
定價　各種均一
小壜入　金五拾錢
中壜入　金壹圓五拾錢
大壜入　金貳圓五拾錢
內地以外は關税運賃を加ふ

（三百番香水現品寫眞圖）

MITSUWA
TSUBAKI (CAMELLIA) OIL.
Mitsuwa Tsubaki (Camellia) Oil is admittedly the best for the hair. It enhances the natural lustre and strength of the hair, and nourishes it generally. The oil is compressed from the camellia, and through a sanitary process is bottled absolutely pure. Perfect for toilet.
Price 20 Sen, 30 Sen and 55 Sen.

○ミツワ椿油
毛髪の衛生に適し其の色澤を漆黑艶麗ならしむる
本品は新鮮なる椿の實を以て精製したるものにして、從來の製造法を改良し、悉く皮膜を去り、強力なる水壓機にて冷壓法を用ひ、些少の熱をも加へずして搾取せる純良なる椿油となり、本品は普通の椿油と異り、毫も苦味を含まず、透明無臭にして、毛髪の發育を助け雲脂の發剩を防ぎ、色澤を艶麗且つ漆黑ならしめ、赤毛白毛に成り易き憂を除き、臭氣を發することなく、裂毛折毛等を生ずる病を去り、漆黑を貴ぶ本邦人の毛髪に最も能く適應する理想的完全の毛髪油なり。
定價
小壜……五勺入……金貳拾錢
中壜……一合入……金參拾錢
大壜入……五合入……金五拾五錢
內地以外は關税運賃を加ふ

（現品寫眞圖）

京城日報 二十七日 木曜 (朝夕刊併せて八頁)

支那漫遊

蘇峰生

濟南より博山

十一月卅日朝、濟南を發して青島に向ふ。[illegible]獨逸か[illegible]山東鐵道は、[illegible]故郷」の感あり。山東鐵道は、滿鐵の出店とも見る可く、其の要部、各驛長、其他殆んど滿鐵より、移轉し來りたるものにして、一切萬事、滿鐵式と見て可也。津浦線にて、閉口したる予等に取りては、特に愉快の感あり。汽車は平原を過ぎて、張店に到る。此れより予等は其の支線に乘り換へ、石炭の産地にして、獨逸の經營を、其儘に紹介しつゝある、淄川炭鑛を瞥見し、終點たる博山に着したるは、正午を過ぎる一時半なりき。

博山は石炭の産地にして、殊に此地の石炭はコークスに適す。張店より孝婦河に傍うて溯れば、淄川より漸次に山地となり、兩崖相ひ迫りつゝあり。孔夫子が魯公を扶けて、齊侯と會盟したる夾谷は、淄川、博山の間なる可しと云ふ。而して尼蹊の平野を過ぎて、[illegible]中、不[illegible]根山村多[illegible]擣土[illegible]烟千丈入ニ青空。

博山は即ち原盜き、山峙つの地也。此地は石炭は申す迄もなく、陶器及び玻璃製造を以て名あり。陶器は概して日用品にして、玻璃は明時代に、其の製造行はれ、乾隆時代に於て、御料燒として、精巧品を出だし、今も薩摩の御庭燒の如く、好事家に珍重せらる。而して前代に於ける博山爐の如きも、此の地名に因みたるより考ふれば、古來銅、若くは鐵の産地たりしやも、未だ知る可らず。

直に停車場に待ち受けたる東和公司主人、三宅勝二氏と與に、其の新築中なる事務所の寄宿舍に入り。更らに相拉へて、其の貯炭場、コークス製造所等を視察し。同勢十名相率ゐて、一輪車に乘り、孝婦河の水源の一なる、顔氏廟に赴く。道は孝婦河に溯し、博山城内を貫き。河畔の白楊樹堂々五六十尺、何れも鬱大の勢あり。濃緑深翠の時想ふ可し。顔氏廟に到れば、黄菟莉死の間に枯草叢生し、朱欄傑閣は半ば腐圯し、其の舊態が、其の眞面目を[illegible]あるを見るのみ。祠堂内に[illegible]源にして、非常なる勢を以て、水噴出しつゝあり。是れ天か孝[illegible]の孝に感じ[illegible]る、陽物也との傳[illegible]。[illegible]古碑多し、熙寧、政和等、宋代の年號のものより、元、明、[illegible]ふ迄、歴覽に遑あらず。

歸途には顔神鎭を過ぐ、隨處の[illegible]何れも陶器を山積す。而して吾人が朝鮮にて、高麗燒ならんと思惟したるもの、此地にて即今製造しつゝあるものと、同一なるを發見し、聊か啞然たるを覺ゆ。此夜は三宅氏等と與に、寄宿舍の土間に、久し振りにて、牛肉の鋤燒を攝し、快食快飮、興闌くるを知らざりき。

三宅氏は同志社に於ける、同窓の一人にして、滿洲より山東にかけ、努力奮闘、已に十數年、先づ燐寸業を創め、船舶運輸に於て成功する所あり。今や青島、濟南、博山等に其手を擴げ、青島に落花生油の製造所あり。博山にコークス製造所あり。其の小成に安せず、十年一日、一書生の如くして、愈よ進み、愈よ奮ふもの、寔に[illegible]の爲めに氣燄を吐くに足れり。同夜は寄宿舍の一室に双脚を伸ばして、安眠したり。

博山より坊子

(大正六年十二月三日濟南ホテルにて[illegible])

十二月一日、夙に起し、午前九時半、三宅氏等と與に、博山より山東本線の交叉驛、張店に至る。濟南よりの汽車を、待ち合はする時間を利用して、金嶺鎭の鐵山を瞥見す。[illegible]鑛は遠からざる可し。日本人小學校に立ち寄り、教場を觀へば、教師は軍服の兵士也。我か守備隊の下士、上等兵等を以て教員に充てつゝありと云ふ。何等の好現象ぞ。予は日本人の足跡と與に、若しくは足跡に先ち、如何はしき婦人、若しくは浮浪の徒の群がるを見、心恒に之を樂ます。然も今や軍服の兵士が、小學先生の代用を做す愉快なる狀態を、目擊するに於ては、寔に我か國運の前途を、祝福せざらんとするも能はざる也。

午後三時半濰縣に著し、直ちに陳氏を訪問す。陳氏の先代は、道光年間に於て吏部侍書たり。其の寛[illegible]

濰縣は昨年山東革命亂の[illegible]本[illegible]撫せず、陳氏の如きも、罹災者の一ならず、亦た同情に堪へたり。

予等が午後八時前に、坊子に著するや、在地の官民諸君に迎へられ、晩餐會に招かる。或は晩飯と云ふを適當とす可き歟。飲を辭せざる予も、醉客として、諸君の好意に應酬したり。坊子驛長[illegible]坂氏は、予の同鄕の後進也。坊子駐在の司令官、西少將は、生面なれども、獨逸留學の新知識にして、語る所聽く可し。予は此遊未だ曾て、日本流の宴會に出席したることなし。その是れあるは、此を以て始めとし、此を以て終とす。

[illegible]故に三國時代には[illegible]る必要あれども、本稿は已に外觀[illegible]に達し、前途猶遼遠なれば今回は之を略し、先づ三國中の一二に就て記述す可し。

(甲)古墳の分布 [illegible]其範圍は高句麗古墳と同形式のものは支那の遼濱方面より、平安南北道及び黃海道の一部に分布し居ることは今日同學者連の等しく認むる所なり。而して通溝に存する將軍塚類似の石築古墳は唯だ平北に一箇所あるのみにして他には未だ之れ有るを聞かざるなり。去れ共內部の構造即ち其石槨の蛇腹式なるは遠く[illegible]島地方にもありと謂へり、故に[illegible]

來訪者の手を擴げなば恐らく此種の古墳は鴨綠、豆滿二江の對岸なる西北部に廣く分布し居ることを知るに至らん。

(乙)百濟式の古墳は彼の扶餘の近傍なる陵山里に多く散すれ共、猶他の地方なる全羅、忠清、京畿の諸道に認めらるゝ古墳も恐らく同國系統のものたる可し、此百濟式は[illegible]内部[illegible]は長方形なる[illegible]切り屋根の[illegible]加羅、任那の[illegible]

[illegible]

京日鮮滿便覽

◎京日鮮滿便覽は四六倍版[illegible]の、街に新しくして美麗なる小冊子にて普通案內書等の類に非らず內容體裁共に實際を誤る[illegible]

便覽 [illegible] 裁

便利と實用とを兼ねたる有益なる新年の大附錄を提供す

◎簡短明瞭材料精細大部なる[illegible]入旅行家は勿論實業家等には不可缺月極讀者に限り無代進呈購讀者は速に申込まれよ

大正七年一月元旦京城日報附錄

時事詩壇

○曹[illegible]小集[illegible] 千狂

[illegible]

○祭詩 同人

[illegible]

どうして

布施生譯 二十六

國栖は用心深く先づ一渡り四邊の樣子に眼を配つたが人つ子一人通る者は無い、先刻の學校歸りの子供達ももう夫々自分の家に歸り着いたのであらう、何處を見ても其れらしい影すら見えぬ、今なら邪魔の這入る氣遣は無いのを見濟し國栖は手早く上衣を脫ぎ洋袴を膝迄捲りあげると身輕く松の樹に攀登り軒近く差出た枝に足をかけて葉の間から覗いてゐる二階の窓に足を踏み掛けた「幸ひ一つ二つ引搔創を拵へただけで首尾よく窓に取付くと一寸呼吸を調へて、一躍跳ねたと思ふうちに手際よく部屋の中に飛込んだ、中は勿論御靈室で物音が[illegible]に響く上に床は壞硝子で足の蹈處もない。國栖は豫期した事ながら餘りの荒模樣に氣味を惡くして此儘もう御免蒙らうか、それとも進んで目的の調査を强行しやうかと迷ふたので不圖戶外を見渡すと一寸降りる手段が無い、橫木に足をかければ可いようなものゝ、其橫木が朽ちて餘程危ならしい、國栖は思切つて此儘奧に進んだ上階下の戶を捻開けて出る事にした。

一目見ると部屋の樣子は殘る隈なく荒れ果てた、片隅には椅子が二脚無雜作に推片附けられて一方には錆朽ちた暖爐が放棄てゝある傍には破れた古衣服が投掛けて丸めて捻出してある。國栖は今度は二階から階下へ傳ふ階子を降りてみたが眞暗な深淵のやうな氣がする下部屋へ突入した、降りてみると矢張り何でもなく階段と向合つた方に附いた戶口を押開けて出ると、今度は八疊敷ばかりの四角な部屋で片隅に寢臺が一脚棄ててあるのが眞先に目につくやうに据ゑてある、よく見ると蒲團はいつか取拂はれて木枠ばかりが淋しく殘つた上更紗の幕を張つたのが言はゞ骸骨に衣服を着せたやうで何となく物凄い、外には破竈笥搖椅子が一脚ある、國栖は急がしく傍に寄つて抽斗を開けてみたが、悲しい事に目に留る物は無かつた、恐らく別段□してゐるだけ淋しさの增る此仕事を出來るだけ早く切上げたいと國栖は其部屋を通抜けて玄關の方へ出てみると、玄關傍にも一つと小部屋が幾個かあつて、どの部屋にも道具が少々殘つてゐないではないが一つとして國栖の好奇心をそゝる程の物は無く特に國栖の好奇心をそゝる程の種とては何もなかつた、部屋の中で唯一つ、小さくはあるが居心地の良さそうなのが可成長い間使はれてゐたらしく國栖は其處に數年の床のあるのを看附けて其數葉だてた樣子から之は乾度男の手だらうと推しながら其傍に立寄つたが、其時不圖部屋がいやに暗いのに氣附いてどうして此樣だらうと深く怪しみひよいと天井を見上げると、どうだらう窓口には古い肩懸が一枚に厚い上衣が二著も引懸けてあつてお蔭で全然窓を閉いである、國栖は今にも例の牢破りの惡人共が暗い片隅から飛出して來さうに思はれて思はず衣嚢の短銃に手を懸けながら急がしく窓口に歩寄つてつゝと腕を伸すと其上衣と肩懸とを搦取つた、取つてみると何の事だ窓にはまだ其下にちやんと窓懸があつて昔の名殘美しい網の紋つてある。

多少春高模樣

▲歳年末の[illegible]筋は遂に失望するの外なき事となりたる次第なるが廿一日中旬の貿易が六百四十五萬圓の入超を發表[illegible]

▲當限綿[illegible]只僅かに郵船ヂキが近時に見の波瀾を演じて三百五圓臺に吹揚[illegible]したるは船株に對する買氣の衰[illegible]吹聽せられたる結果相當の抑目が飛躍したる位に留まりたるは[illegible]と共に[illegible]に相違なからんも實際[illegible]

▲相當の[illegible]て內地の諸物價は依然騰貴の趨勢を辿り中流民は何れも生活難を叫びつゝあるに對し株式獨り諸物價[illegible]

▲奇觀的に見越 [illegible]さるゝ人 買方に味方せんとする節多ければ[illegible]多少なお春高の氣分を張り居れ[illegible]氣作用も加味せられ居れは一般にるは[illegible]可らざる形勢也と(在京)

[illegible]土の餘裕あるに加ふるに先萬を見越して[illegible]海上の輸送に多少の不足を來せる[illegible]等の理由に基因すべし而して本月の[illegible]落け果して如何今[illegible]前月の[illegible]計[illegible]るに由るものなり

[illegible]大豆[illegible]の運送一萬五千石[illegible]め沿線各驛より特定運賃に依る[illegible]の[illegible]鐵路釜山へ廻送す[illegible]

新刊 中卷 出來

遞信省技師工學士 清水與七郎君著 中卷參圓

電氣測定法 [illegible]

發行所 [illegible] 丸善 [illegible]書房

英和對譯 實用商業通信

[illegible]五郎君著

大增補第四版出づ

田村直臣先生新著

子供の友 一日一話

◇壹月貳月參月四月の卷出來◇(以下續刊)

[illegible]

海軍中將 坂本[illegible]題辭

山崎米三郎先生新著

軍艦旗の下にて

◇四六判二百頁除美本◇ ◇定價八十錢送料四錢◇

本書は著者の興味的に海洋思想を注入せん爲の筆を執りたるものにして[illegible]

發行所 東京麹町平河町五丁目 洛陽堂 電話番町二五八 振替東京二〇九一四番

顧問高島平三郎先生

幼年雜誌 良友 壹月號

[illegible]

コドモ社 東京小石川[illegible]町 電話小石川六一八 振替東京二七九六[illegible]

最寄書店にてか或は本社へ申込あれ

小學程度の讀物として最も適切

コドモ

料理の友

正月料理滿載號

▲知らねばならぬ食物の新知識……佐々[illegible]學博士

▲家庭的の新娯樂……小波[illegible]

▲斯すれば食事の不平が起らぬ……[illegible]

▲人生の最大幸福……新渡戶博士

▲來る可き新生活……高野重義

▲新年と新風味……吉川[illegible]

▲勅題に因んだ御吸物數種

▲松竹梅と雪月花の即席お雜煮

▲手輕で上品な正月用酢の物六種

▲御婦人向の即席料理色々

▲有合せの品で酒客向き料理

▲風替な餅の搗き方八種

▲美味しい餅のお料理十種

▲風雅なおしるこ數種

▲下戶の喜ぶ乙な飲物く

▲勅題に因んだし 新案重詰料理

高尚優美で最も風味の佳い料案の重詰料理が僅かな費用で何人にも出來る經濟的の調理法を以て說明す

▲勅題新案の日本菓子 ▲三ヶ日のお惣菜

▲手輕で風雅な握り鮨 ▲正月の漬物

▲來客用にもなる西洋一品料理十種

▲手際よいおせち料理、美味しい温菓子

▲五十錢で新年宴會向き西洋料理

口繪 便法 一冊金廿二錢

東京上野 大日本料理研究會 振替東京二四三九八

寒さと「トンビ」

一特長トンビ 金參拾九圓也

一甲 同 金參拾六圓也

一乙 同 金參拾圓也

一女コート(頭巾付) 特價(一割引) 金拾九圓也

一行燈袴 特價 金九圓也

◎純毛にして色合は新流行良色

◎縫目模樣英國製にして「シワノヨラヌ」事保證付

但しコート袴共五拾枚限り右特價發賣仕候

京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部

歲暮頁好の贈答品は島屋發賣の

島屋特製 都奈良漬 五色詰合 自四十錢 至三圓五十錢

岐阜名産 守口漬 樽詰各種 自四十錢 至二圓五十錢

静岡名産 山葵漬 樽詰各種 自四十錢 至二圓也

京都名所 蕪千枚漬 樽詰各種 自五十錢 至二圓也

島屋別製 都味噌 正味五百匁入 二圓五十錢

島屋吟釀 醬油 自二圓五十錢 至四圓五十錢

に限る

◎市內信用ある食料雜貨店にて販賣す最寄の御店で御買求め下さい近來粗惡の模造品が多數ありますから御買上の際は島屋製と御指定下さい

◎御用命の際は電話九〇三番二三三〇番へ御掛け下さい

京城北米倉町 島屋本店販賣部 振替口座京城五七番

講和談判開始

▽ブレストリトウスクに於て

アムステルダム來電＝講和談判はブレストリトウスクに於て開始せられたり獨逸側委員五名にして外相キユールマン氏委員長に擧げられ墺國は委員八名にして外相ツエルニン伯委員長に勃國は委員五名にして法相ポポフ氏委員長たり土國は外相出席し露國は委員十三名にしてクジエネフ氏を委員長とす斯くて獨逸外相キユールマン氏は委員長となり力說して曰く「問題は念入りなる平和條約の作成に非ずして只平和の交際殊に文化上及び經濟上の交際を速かに再現せん爲め最も重要なる條件を議定せんとするにあり」と尙氏は語を強めて曰く「今回の講和談判は歷史的の事件となる可きを念頭に置くを要す」と（倫敦電報）

露國講和條件

△露獨平和會議に提出

露獨平和交涉會議にては露國側代表員は六箇條の條件を提出したるが其の主要項目は

一、武力を以て他國領土を併合せざること
二、戰爭中政治上の獨立を失ひたる人民に之を恢復すること
三、各人民は自ら其の國家政體を決定すること
四、非賠償
五、個人の受けたる損害は總て特別資金より其の辨償を受くること而して右特別資金には交戰國は全部割合に應じて醵出すること
六、此の主義は新たに構成すべき國家に對しても其の母國同樣に適用さるべきこと

等にして最後の條項には經濟上のボイコット、單獨稅關協定及び直接軍事上の目的を有せざる海軍封鎖を行はずこと在り（倫敦電報）

東露の形勢

▲吉林兵輸送開始

支那は吉林軍四旅の輸送に着手したり哈爾賓到着の上は勞兵會所屬二箇大隊に解散を命じ武器を沒收する豫定なり先著の旅長陶祥貴氏はホルワット長官に對し武裝解除を要求し居れり（哈爾賓電報）

▲露兵に解散を命ず

二十五日夜東淸鐵道長官ホルワット將軍は露西亞兵全部に對し解散を命じたり之ぞ傳へらる襄の騷動は是に原因せるものならんかと云ふ哈爾賓行の列車は只今（二十六日午後二時五十分）只今二十六日午後通常の如く長春を發車せり（長春特電）

▲哈市爭亂勃發か

只今（二十六日午後二時五十分）哈爾賓と長春との間に電話を交換せる者の談によれば哈爾賓市街に於て五六發の砲聲を聞き鐵道踏切にて露西亞人六七名の死骸を目擊したり或は騷動の起り居るに非ずや故に此次ぎ再び電話を繼けらるゝや否や不明なりと哈爾賓の者は語れりと此の報を聞き長春官憲は卽時事實の取調べ方に着手せり（長春特電）

▲露支砲火を交ふ

露軍降伏＝武器引渡

廿六日午前九時支那兵は過激派に屬する露國民團に對し其所有する武器の引渡を要求せるに該團は之を拒絕せる爲め遂に兩者の間砲火を交ふるに至り相方多數の死傷者を出したるが間も無く露軍は白旗を揭げて降伏し只今（午後一時三十分）支那兵に對し武器の引渡を行ひつゝあり

▲獨俘虜自由解放

▲東露各人種大會

◎祭粢料御下賜

故靑山博士へ

◎寺內首相訓示

一、紅白絹　一匹
一、祭粢料　三千圓

◎新勅選名

◎高等教育

改正の要領

◎藍綬褒章下賜

高平小五郎
北里柴三郎
大久保利武
宗像政
津田伊四郎

◎兩殿下御禮

◎政府委員任命

◎靑山博士追悼會

◎趙子爵令嗣任官

◎咸北鰊漁況

◎鮮銀の保證準備擴張

要點は植民地開發低資の供給

▲信託業務

▲擴張の一理由

◎總督府御用納

▲御用始式

▲漁何の實蹟

支那見聞談

内藤湖南博士講演の梗概　その四

◎雲南軍瀘州占領

◎磐手艦急航

◎大連彩備問題

▲市役所移轉

▲市營二事業

▲衛生施設改善

明治大正文學界の飛將軍
卅年間心血結晶の傑作集
蘇峰德富猪一郎監修（民友社發行）

愛山文集

總クロース上製　菊版千四百六十頁　定價金五圓　特價金四圓　郵税二十四錢　●特價申込期限十二月末日迄●

山路愛山氏は明治大正文壇に於ける飛將軍の隨一人也。氏の文、世間既に定評あり、其筆端の自在にして其趣味の多方面なる、其學識の該博にして其觀察の奇警なる、何人と雖も驚嘆せざることなし。其三十年間の文壇的生涯に於ける幾多の逃作は、一代の文運に貢獻寄與さず不幸、大志を齎らして長逝す。可惜きも其精を拔き其粹を萃めて之を編纂せしものの其之を明治二十三年に執筆して『女學雜誌』に揭載せる『英雄論』に始まり大正六年末に其死前一日迄稿を續けたる『奠都五十年』にて終る。文を以て行等其重きなる所の史論、人物評論、時事論策、二百有餘の一紀史眼炬の如きもの或は天眞小羅せざるなく、通編長短章を網說に似たり、心血の結晶にして其生活の眞を溢にすと雖も、蓋し是れ故人が心血の結晶にして其の生活の眞を傳ふるものにして、各章各々其觀を異にすと雖も、悉く是れ故人が心血の結晶にして其生活の眞を傳ふるを憚らず。請ふ一本を購ひ天才奮鬪の記念す可き痕を此裡に驗せんことを

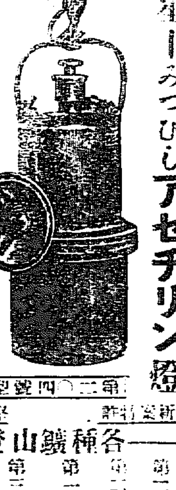
發賣所　京城太平通二丁目　振替京城三〇〇番　京城日報代理部

移轉

當事務所左記へ移轉仕候條此段謹告仕候
追而歲末歲首に際し一々御挨拶可申上の處移轉早々混雜中缺禮仕候間不惡御諒承被下度候
大正六年十二月二十三日

京城府旭町一丁目六十三番地
藤田鑛業株式會社
朝鮮鑛業事務所
電話長一五二番
所長　原田信三

鑛山燈



鑛業界の明星＝みつびしアセチリン燈

第二〇四號型

新案特許　堅牢廉價

各種鑛山燈
第二〇二號（坑内用）
第二〇一號
第一〇號
第三〇一號
第三〇三號

元東京　合名會社　儀村工業所

學生無比　パイン「學生號」萬年筆

學生諸君の御希望により技術最も優秀なる「パイン萬年筆」製作所に命じ特に製作せしめたる此「學生號」はペンが小ひのと總ての裝飾を除き實用を專一とした爲めに斯く廉價なのであります
▲學生號は「パイン」の長軸とも云ふべきもので外見は少しも違ひませぬ
▲同じ十四金ペン同じ最上の「エボナイト」軸で此の耐久力高價の萬年筆に少しも劣らず銀行、會社、學生間に益々喧傳されて居るのも此故に外ならぬのです

定價　貳圓八十錢也

發賣元　京城太平通二丁目　振替京城三〇〇番　京城日報社代理部

○張督軍戰線に向ふ

[illegible]しつゝあり(上海特電)[illegible]しく戰線に向へり(北京電報)

山東督軍張懷芝氏は濟南を[illegible]より[illegible]に急行[illegible]

冬宮乘取の一幕

(三) 大學生が勸降使

危い！兵卒等は敵の射擊を[illegible]しているか。若し[illegible]白砲を打[illegible]味方の要塞から發射する大砲の方ぞといへば各宮内には負傷兵が[illegible]が怖かつた。何故ならペトロパウロフスク[illegible]大人居る者我々の同胞だ[illegible]の要塞から打出す大砲が冬宮に落ちて候補生が[illegible]下して大きい建築物を粉碎したら婦人兵が我々に[illegible]らば自分達も肉泥となつて吹き飛ぶ[illegible]ばされるに違ひないからだ彼等は[illegible]ガクガクと顎を顫はし銃身に噛りついてゐた。と博物館の方から[illegible]長が來て

十二吋砲の兵卒等は土の中から掘り出されたやうに安神した。私は自分では激しい肉彈戰にもなるまいと思ふと大膽になつて冬宮内に紛れ込んで中の樣子を見てやらうと言ふ好奇心がムラムラと湧つた宮殿ひに冬宮の外郭をなして居る參謀本部前に出やうとしたが途中モイ河を挾んで東側には陸兵西側には海軍が密集して居る、私は一寸躊躇したが

●幸ひ服裝が黑く海軍に似て居たので彼等の眼を晦まし

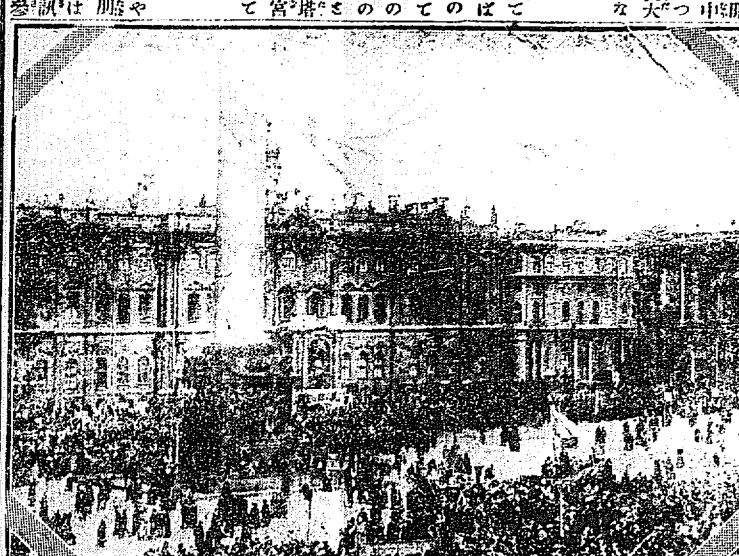
參謀本部前に出た、見ると新式の裝甲自動車は二門の機關砲を冬宮に向けて居る其の周圍には大學生が五六人兵士が二三十人も居つた多分幹部であらう其中には唯一人の少尉候補生も加はつて居た暫くすると海軍からは兵曹が陸軍からは五六人代表者が集まつて來て開城勸告に關する協議を始めた中々には駄目だ打つて言ふものもあつたが二三十分間も甲論乙駁の後大學生が勸降使となつて行く事になつた

●私に愈々面白くなつたぞと思ひながら風致樹の植込み

の中を忍び忍び大學生の後を蹤て行くと其邊兵の配置もしてなければ何等の警戒もないケレンスキーの內閣員が大手を振つて逃げ出しても發見される氣遣ない軍事智識のない私もこれでは兵卒等が銃砲の音に度膽を潰すのも無理はないと思つた冬宮正門前の歷山王紀念塔の陰に身を潛めて前を見ると冬宮の窓からは淡い蠟燭の光が洩れて中には白衣を纏ふた傷病兵が

●不安さうに窓外を眺めてゐる[illegible]に積み上げた中

には士官候補生と婦人兵が銃口や機關砲を突出してゐる大學生が[illegible]に來た代表者を出せと呼はると[illegible]の要件かと士官候補生が訊く大學生はオイ君いい加減に降參



冬宮正面前に建てるは歷山王記念塔

自轉車の新乘用規定が

▼一月一日から實施される

(小串田本町署[illegible]談)

世間で重寶がられて居る自轉車に[illegible]取締規則の[illegible]其利便の効用の多い代りに一面に[illegible]於ては一般交通上に危險を及ぼす[illegible]場合が多く何時も通行者では[illegible]行者を邪魔物扱ひに[illegible]云ふ有樣で

▽迷惑千萬な

[illegible]

從來是れに對する取締は府令各道[illegible]概ね理事廳令又は警務部令を以て規則を發布して居たが大正六年十二月二十七日警務總監部令第[illegible]號を以て各道統一的に本取締規則を發布し大正七年一月一日より施行せらるゝことゝなつた京城府に於ては去明治卅八年十月領事館令に依[illegible]

▽能く此規則

[illegible]

▽十分の目的

[illegible]

▽不可能の事

[illegible]にあらず普通常識を以て[illegible]合と認むるところを規定せしもの[illegible]なれば各自制心を向上し自他交通の安全を期せねばならぬと云ふ[illegible]

●小學校の石炭代奮發

(昨今の寒さで兒童に同情して)

昨今一しほ寒さが嚴しくなつて來たにつれ經費の尠ない小學校に對する探暖設備奈何を氣遣ふ父兄の多いのは尤もな事で又一方ストーブに出る兒童

□燒死事件 など突發した爲めストーブの危險を豫防する裝置の必要を一般に認められる事甚々切なるものがあるやうである昨今小學兒童は教室にあつても寒氣の爲め碌々授業を受ける事も出來ない可愛想だ何とか出來ないものだらうかと言ふやうな話しは

□通學兒童 を持つてる父[illegible]

本年度の石炭代改定

[illegible]

□幾分豐富 になつた譯である其の他高等女學校や幼稚園等の中にも幾分寛の追加更正を見たが京城學校組合の管理に屬する小學校の石炭代は略ぼ前記の通りで當局者も酷寒中兒童の探暖と言ふ事には周到なる注意を拂つて居ると言はねばならぬ

●少年賊と格鬪

三名負傷す

釜山草梁金硯伊(二七)は二十五日午前二時頃同地支那町河學善(五二)方へ忍び入りたる處を家人に發見され河學善は家人なる河金班、河金瑞等と共に協力して捕へんとしたるに賊は手にせる二尺餘りの[illegible]

●漢江上流凍氷

[illegible]

●五十八箇所を荒す

[illegible]

●阿片密賣者

[illegible]販賣者二十三名を檢舉し[illegible]に送致したる結果此の程内七名[illegible]懲役六箇月乃至八箇月に處分されたり

●凍死

二十五日午後六時頃京城黃金町四丁目二百五十四番地の空小屋内に五十歲位の内地人男一名死亡し居るを警官が發見し本町署にて檢視の結果住所不定無職の西山源吉(五二)と言ひ飢と寒とにて凍死を遂げしものと判明屍體は京城府へ引渡せり

家庭と養鷄

◎廢物の飯を利用して
○結構な卵が得られる

◆新鮮の鷄卵 を獲やうと[illegible]市中で賣つて居る鷄卵は先づ新鮮のものは尠いと云へる、中には腐敗に近づいたものさへある、味も惡るければ有るべき筈の滋養分も少い譯である

◆廢物利用と たまきず自家の飼つて居る鷄が産んだ玉子は味ひの良いのは勿論、人情であります[illegible]い感があるのは、特別に美味來客に饗しても、有觸れた料理よりは必ず喜びます、燒くも煮るも特に便利でありますから、一坪以上の空地のある家庭へは是非とも、養鷄をお勸め致します、終りに注意したいのは、俗に

◆チャボリこ 稱し鷄は共雞を、天秤で擔いで賣歩るくものがありますが、之等の多くは劣等品であるから、素人方は買けぬやうにしたいのです(京[illegible]養鷄[illegible])

●[illegible]市[illegible]

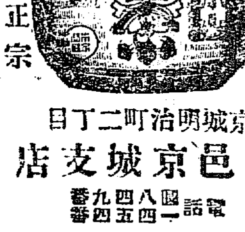
市務の擴張改善、新財源の獲得、市の公共營利事業經營等各方面に亘りて計畫を立て或は大連民政署に或は都督府に[illegible]

合は本年度内に竣工の豫定なりしも工程遲れ明年十月中には竣工し[illegible]

▲教育事業 現在市に屬する教育事業は小學校及び公會堂のみなるが女子技藝學校を設置さるべく今春來市會にて運動せる[illegible]する所ありたるが其後石本市長に[illegible]相生會議所會頭よりも同樣陳情する所あり一部は市民有志の寄附に求め[illegible]他の部は都督府の補助に待つこと[illegible]萬圓を出すして市の衞生事業教育施設其他の擴張改善は他に財源を求めざる可らず市の理事者側にては軍用地區の保管用權を市に移すことゝ及び埋立地の市有其他市内通[illegible]鐵及び屠畜場燒却場の設置は市民の便宜と公衆衞生の上より最も望ましき所なれど少からざる經費を要する爲め之亦實行容易ならざる可し(大連)

○關東[illegible]歸任

(診察夜九時迄)
外科 皮膚科
瀬戸醫院
京城旭町二丁目(舊三丁目)電話二四九八番
醫學士 瀬戸潔

比較は最良の選擇法なり!!
サクラ正宗　サクラ正宗

京城明治町二丁目
山邑京城支店
電話　四八四一　九四五四番
振替京城五七番

中央婦人病院
京城[illegible]町二丁目(元[illegible]病院下[illegible]通)電話二三四〇番　院長 [illegible]

[illegible]通譯方正確にして且つ嶄新
一、内鮮人間に膾炙せる俚諺の適譯計六百
一、本書は各學校教師及學生各裁判所警察官署通譯生銀行會社並に講習會に對し宿年の渇望を充すに足る良著たり幸に一本を机上に備へて御愛讀の榮を賜らむことを祈る
發行所 [illegible]京城日報社代理部

鮮日 會話精通
西村眞太郎著
定價金壹圓參拾錢

眼科專門
京城若草町
金井眼科醫院
新築落成●入院隨意●日曜祭日午前中

資本金 二二、七〇〇、〇〇〇圓
積立金 一一、二〇〇、〇〇〇圓
諸預金 一八八、〇〇〇、〇〇〇圓
株式會社第一銀行支店
支配人 西村道彦
京城南本町二丁目(振替貯金京城一一番)

内科 胃腸病
(診察夜九時迄)
京城本町一丁目
石川醫院
電話二九九番

今回亡父葬送の際は寒氣酷烈の候にも拘らず遠路御弔問を忝ふし難有奉深謝候乍略儀紙上を以て不取敢御禮申上候 敬具
大正六年十二月廿七日
孤哀子 全命基

魔法瓶
魔法瓶中瀬取次
京城本町二丁目 電話二三四番
高木旅行用具店
126

商品切手
御便利に賣買仕候
京城永樂町二丁目五番地 電話一四九八番
丸五商會
120

[illegible]電話讓りものあり
(電話二〇三番)南山町三丁目 巴城館上隣
●讓店引受たし
●商品擔保貸付
京城明治町二丁目 電話二四八八番 大口歡迎
古本
高價買受
御報參上
明治町通 野村書店 電話三五〇番
100

京日案内
普通一回金 [illegible]
▲▲▲▲

歲暮は大橋に限る
各國洋酒
洋菓子
干葡萄
外數種
京城本町二丁目(古城前)
大橋商店

大阪屋號
大斜定石法
[illegible]

最新刊
購買地土調查局
[illegible]

●米人の觀たる 出兵論

△紐育『アウトルック』誌は其社説にして現に『アドヴアタイザー』主筆たるメーソン氏を露國に派遣して革命後の狀態を視察せしめた所が近著の同誌に氏は日米の露國出兵比較論を掲げてゐる其の大意を茲に紹介する氏は曰く

△陸軍を以て露國を援助するとして露國々民が之を歡迎するや否やが最も緊要な問題である過激派は固より外國兵の露國に來るを喜ばぬに極まつてゐる然し之と同時に外國の援助を喜ぶ人民も尠くない米國兵が來ると云へば殊に然りである例へばコサック兵、波蘭人、西伯利住民の多數、ウクラニヤ人、レッツ人等の如き職業組織を主張する民族は外國兵の援助を喜ぶ此等の種族は最近に於て露國政府に露國軍隊を人種に依つて組織せんことを提議した、露國政府は各民族が各方面の軍隊に散在して居るを便利として此提議を斥けた然し此民族的結合の面白い例はチエク人、スロヴアク人である露軍には二十四萬人のチエク人、スロヴアク人を墺太利軍から捕虜として捉へた然るに此の民族は其の内心に於いては露國人を同胞とし獨墺人を敵と思つて居る捕虜として捉へられたと云ふは表面の事で事實は彼等が獨墺軍と一緒に居るのを嫌つて露軍に投降したのである現に彼等の内六萬は已に露國軍隊として戰線に居る

△露都に在る聯合國大使館は露國人にして聯合國に從軍したいと云ふ請願書を何百通となく受取つた斯の如く露國人が外國に往つて迄聯合國と共に戰はんと欲する位なら聯合軍が露國に來るを喜ばぬ筈はない獨逸軍が露都に近けば近く程此意向が露國人中に擴るであらう

△聯合國が露國に出兵するとして聯合國は米國兵を送るであらうか或は日本兵を送るであらうか物質的の議論から云へば日本兵を送る方が便利の如に見ゆる第一は地理上の關係である敦賀から浦鹽迄は汽船で三十六時間で行ける西伯利鐵道は大部分複線で其單線の處にて避回線が豊富に持へてある滿鮮には日本軍隊が居り、又露國の事情を知つて居る士官は日本の陸軍に多く米國の陸軍に少い日本に輸送船舶がないと云ふのは議論にならぬ日本が兵員を以て聯合國を助けるならば聯合國は船舶を以つて日本を助けるのである加之日本兵の生活程度は露國兵の生活程度と餘りに上下のないのも便利である生活の贅澤な米國兵が行けば露國兵が嫉妬を起す懼がある

△日本 出兵に對する反對論がある日本は出兵に對して高價なる報酬を求むるであらうが米國は其露國民主政治を救濟するの外で何等の報酬を求めない、だから日本兵を出さずして米國兵を出すべしと云ふ説がある然し[illegible]價なる報酬を求むべき[illegible]外交の問題[illegible]問題である

△米國をして露國に出兵せしむべしとの[illegible]である然し之に[illegible]困難がある[illegible]して我師遠征[illegible]地たる[illegible]の距離が五千哩ある[illegible]其先き六千哩[illegible]を離て、大軍を維持する困難は此[illegible]想像も及ばぬ所である只此に重要なる事實は露國民が日本[illegible]りは米國兵の來るを喜ぶ事である露國人は元來日本人に對して餘り愛情を持たぬ日露戰役以後も之は變らぬ露國が民主國たらんとして、ある今日は殊更帝國主義にして武斷的な日本を喜ばない聯合國の方では日本出兵の報酬として大なる土地割讓を約束せぬとしても露國民衆は矢張日本が露國の領土に對して野心を有するものと思ふであらう露國民が斯の如き考へを持つとすれば日露兩國の和親協同は困難である

△種々の議論を參酌して米國兵を出す方が便利らしい大軍を送る事が不可能なりとしても小軍をも送る可らずと云ふ議論にはならぬ小軍を送るとすればルーズヴエルト氏なども理想の司令官である然し根本問題は聯合國は露國を國として保存せんか或は獨逸の一部ならしめんとするかにある日本は出兵に對して過大なる報酬を求むべきか或は獨逸をして西伯利迄其勢力を伸ばしむるは世界の均勢を危くすべきや此等の問題は聯合政府でなく聯合國人民の答辯すべき事である(東京)

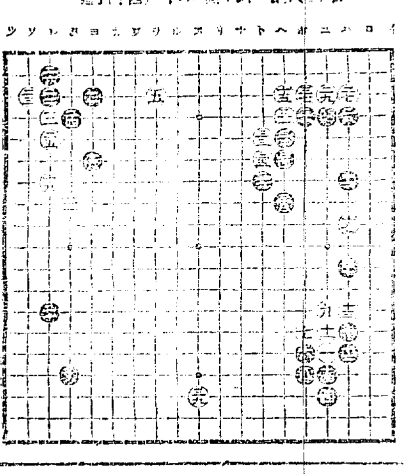
皮膚科
皮膚病 黴毒 淋病 膀胱病 生殖器 機能障碍
京城明治町三丁目(元旭町)
佐藤醫院(電話一一七三番)
入院隨意(診察夜九時迄)
日曜祭日午後二時迄

日報歌壇

回旅にて 松永敏子
夕さりて燈ともす宿はかなしけれ[illegible]ランプ

棋戰

十番碁 第三局の二
三段 山田平壽氏 二子 大久保[illegible]氏
(白の八十一より黑一百十四まで)



石炭各種 西崎商會
京城大平通一丁目

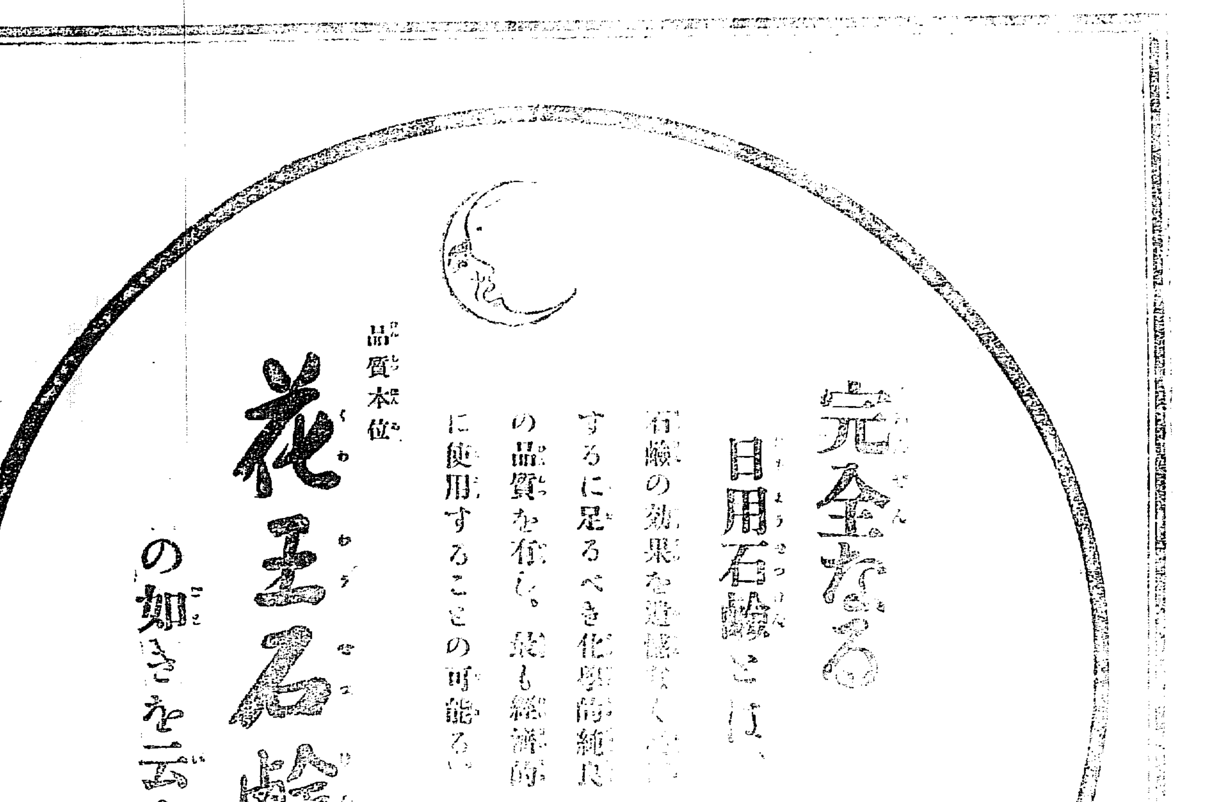
下關期米

波瀾重疊の記録を殘せし大正六年度の株式市場も竝に其終局を告げんとす然も昨夏の大沸騰に比し十一月以降は近來に見ざる無活氣の相場を呈し殊に此十二月中は殆ど[illegible]せられ一入無活氣を助長したる形跡あり斯くて買方は概ね失望的の手仕舞を爲し一方賣方は惡材料の割合に相場が下ばざる爲是亦豫想に反するの結果を見る多少の動搖[illegible]に過ぎず斷絶せざる一端を發露せしも買方は概ね新規商内の振はざりし限月に當り且つ取組も既に漸次に消化せられ居りし故自然手仕舞乘換[illegible]に買物を喚起したるに拘らず戰局の不安外交事情の懸念[illegible]の通商等にて買成功を博し得ざるのみか却て警戒の念を助長し日一日と[illegible]不振を増さんかの傾向[illegible]に買氣の揚らざるの證左と見るの[illegible]併し乍ら又翻つて考ふるに年末より元旦に掛けての長期の休業を控へ且つ歐洲電報一本にて隨分脅迫され易き折柄當限納會が[illegible]と正反對の成行を呈し漸次に不振の兆あるは頗る奇觀と謂ふべきも諸物價の騰貴に出超の持續する限り通貨の膨脹する限り株式にありては避け難かるべきも[illegible]通貨膨脹諸物價騰高も株價の理由となるべき[illegible]之を要するに世界的大戰局を背景にせる丈けに好惡材料の相重複して斯くも大氣迷ひ裡に年末相場を移らんとする次第なるが[illegible]

◎仁川穀物廻著

十一月中に於ける仁川廻著穀物數量は合計五萬六千四百二十二石にして之を前年同期に對比すれば二萬八千餘石の激減を來せり[illegible]

左に示して之を昨年同期の數量と其の増減を對比すべし



花王石鹸製造元 東京 長瀬商會
關西代理店 大阪 大崎組商會

冬物賣出し
軍隊拂下品被服類
弊店持製品類
和服類中古品
[illegible]商店

品質第一
誠實第一
賣行第一
キッコーリウ
最上醬油
醸造元 仁川
日本醬油株式會社
京城出張所

東京で一番よく賣れる美人[illegible]

尼崎汽船仁川出帆
[illegible]

日本郵船仁川出帆
[illegible]

共同汽船仁川出帆
[illegible]
野口商會

大阪商船株式會社 汽船出帆廣告
仁川出帆
×濟州丸 木浦、神戸、大阪行 十二月廿七日午前五時出
×安東丸 木浦、釜山、馬原、馬ノ浦、長崎行 十二月廿六日正午出
安東丸 一月八日午二時出
大連行 安東丸 一月廿一日午二時出 / 安東丸 一月四日正午出
元山出帆
西湖津、新浦、城津、清津行 安平丸 十二月 日後十一時
釜山、門司、宇品、神戸、大阪行 宮島丸 十二月廿九日後九時出
大連出帆
上海、基隆、打狗行 湖北丸 十二月十三日
基隆丸 一月十一日
南米行 毎月一回 / 北米行 毎月二回 / 濠洲行 毎月一回 / 孟買行 毎月一回 / 南洋行 毎月一回
內地各港出帆未定
大阪商船株式會社仁川支店

朝鮮郵船 出帆
○元山より北鮮各地經由雄基行 咸鏡丸 一月五日 / 城津丸 十二月卅一日 / 成鏡丸 一月二日 / 京畿丸 一月十二日 / 三浦丸 十二月廿八日 元山發
○浦潮行(元山より釜津經由) 平壤丸 一月 日 元山發
○元山ヨリ釜山馬門行 三浦丸 一月五日 / 京畿丸 一月十五日 元山發
○元山ヨリ江原道沿岸經由釜山馬門行 成鏡丸 一月十日 / 忠清丸 十二月卅一日 元山發
○鬱陵島行 浦項及各地經由 君總丸 十二月廿六日 釜山發
○浦項行 江陵丸 襄陽丸 每日 釜山發
○濟州島行 長承浦麗水巨文島經由 昌平丸 十二月 日 釜山發
○濟州島行(東廻り、西廻り) 公州丸 十二月廿七日 / 慶興丸 十二月廿八日 木浦發
○釜山、麗水間 釜州丸 巨濟丸 毎日 釜山發
○木浦、麗水間 順天丸 三日目毎ニ 木浦發
○木浦ヨリ多獅島名島行 慶興丸 一月三日 木浦發
○仁川木浦行 晉州丸 十二月廿七日 / 全州丸 一月二日 仁川發
○仁川鎭南浦行 宗信丸 十二月 日 仁川發
○海州行 全州丸 / 南陽丸 休航 每日 仁川發
○青島行(芝罘、大連經由) 江原丸 十二月廿七日 仁川發 三十一日ハ休航 一月一日モ休航
○元山より釜山門司神戸大阪行 平壤丸 十二月卅日 / 一月二日 元山發 釜山發
本社 京城 / 釜山支店 / 元山支店 / 仁川代理店 / 木浦代理店